

令和6年度

あま市の保健



あま市子ども健康部健康推進課

目 次

1 あま市の概要

1	市の紹介	1
2	市の行政組織機構	2
3	市の財政状況	3
4	健康推進課の構成・事務分掌	4
5	保健センターの概要	5
6	保健統計（衛生統計）	6

2 母子保健事業

1	母子保健事業体系図	10
2	母子保健事業	11
3	母子保健事業詳細	14

3 健康増進事業

1	健康増進事業	31
2	健康増進事業詳細	35

4 歯科保健事業

1	歯科保健事業	54
2	歯科保健事業詳細	56

5 予防接種事業

1	予防接種事業一覧	64
2	予防接種事業詳細	66

6 自殺対策事業

1	自殺対策事業	76
2	自殺対策事業詳細	77

7 その他

1	保健師活動状況	81
2	学生実習指導	83
3	骨髄ドナー等助成事業	84
4	救急医療情報キットの配布	84
5	献血	85
6	災害対策訓練	85

1 あま市の概要

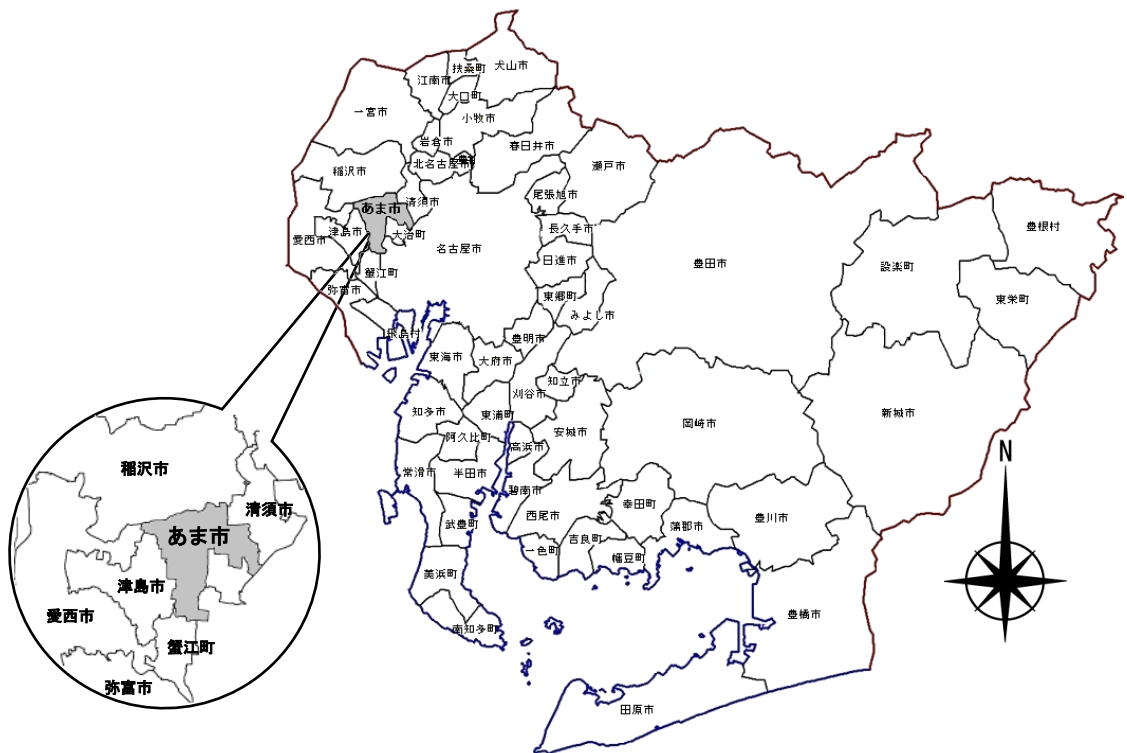
1 市の紹介

あま市は、愛知県の西部に位置し、5市（名古屋市、清須市、稲沢市、愛西市、津島市）2町（大治町、蟹江町）に接しています。

市域は東西約7.9キロメートル、南北約7.8キロメートルで、面積は27.49平方キロメートルです。

木曽川水系や庄内川水系によって形成された沖積層が厚く、肥沃な土壌となっている一方、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯の軟弱な地盤のため、地震発生時の危険性が高い地域でもあります。

近年は名古屋市のベッドタウンとしても発展し、名古屋市の中心部から公共交通機関で約15分という立地条件にありながら、田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しています。

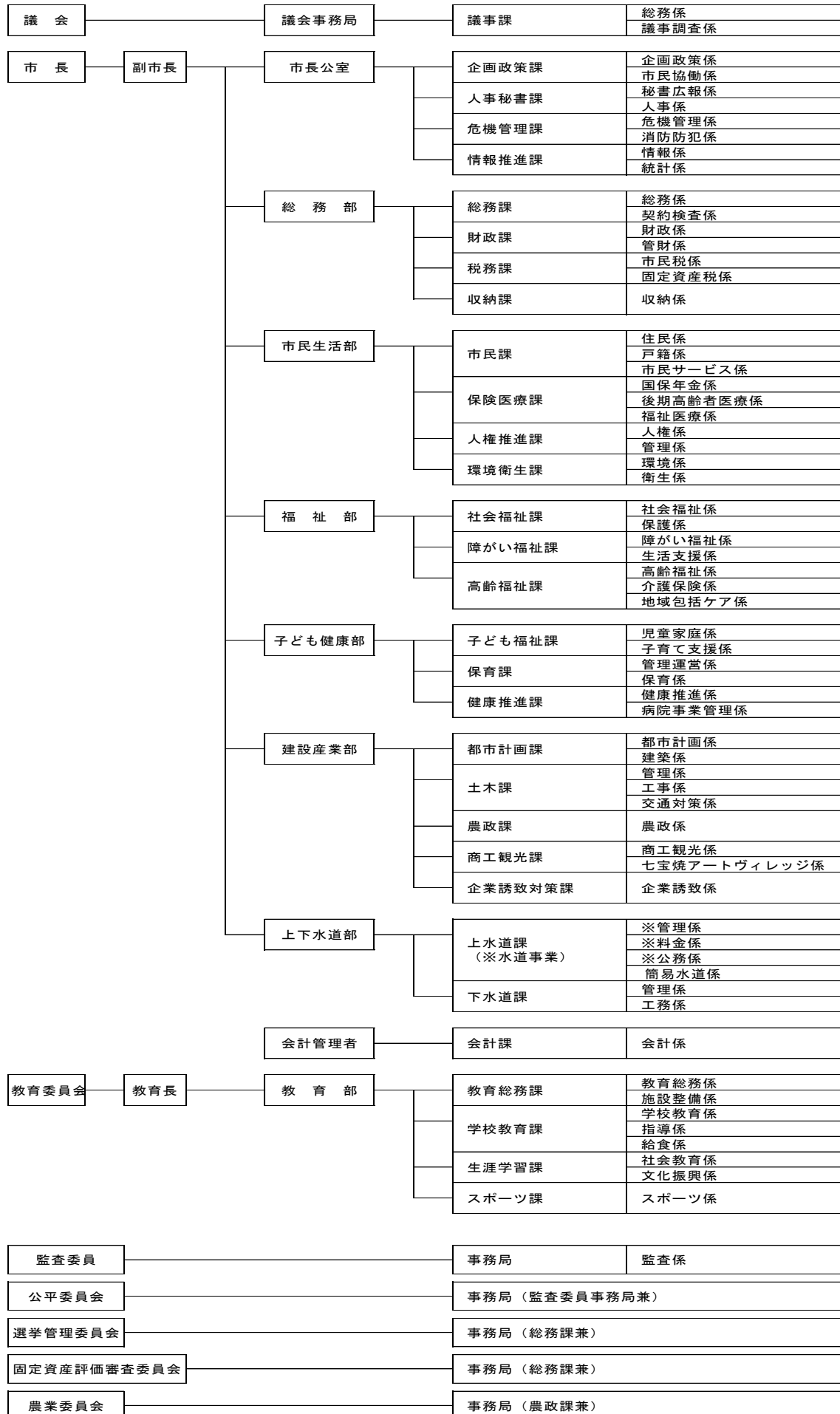


この地域の歴史は古く、市内からは弥生時代中期の遺跡も発掘されています。そして、市内には寺社や史跡が散在するとともに、甚目寺観音での「節分会」や萱津神社での「香の物祭」、蜂須賀蓮華寺での「二十五菩薩来迎会」など伝統文化が数多く残されています。

また、戦国時代に活躍した武将である蜂須賀小六正勝、福島正則をはじめ、7人もの大名を輩出した歴史のまちとしても知られており、七宝焼き（尾張七宝）で全国的に有名です。

令和5年4月1日から市の組織が変わり、健康推進課は「市民生活部」から新たに設置された「子ども健康部」となりました。また、七宝町沖之島深坪1番地に新庁舎が開庁しました。

2 市の行政組織機構



3 市の財政状況

令和6年度一般会計決算

歳 入

区 分	金 額	構成比
	円	%
1 市税	11,388,110,695	29.45
2 地方譲与税	235,021,000	0.61
3 利子割交付金	7,266,000	0.02
4 配当割交付金	149,060,000	0.39
5 株式等譲渡 所得割交付金	198,259,000	0.51
6 法人事業税 交付金	252,369,000	0.65
7 地方消費税 交付金	2,083,753,000	5.39
8 自動車取得税 交付金	3,412,630	0.01
9 自動車税環境 性能割交付金	66,532,000	0.17
10 地方特例交付金	576,471,000	1.49
11 地方交付税	6,477,958,000	16.75
12 交通安全対策 特別交付金	10,349,000	0.03
13 分担金及び 負担金	171,084,067	0.44
14 使用料及び 手数料	276,441,093	0.71
15 国庫支出金	7,087,101,045	18.32
16 県支出金	2,876,089,186	7.44
17 財産収入	24,340,620	0.06
18 寄附金	166,090,900	0.43
19 繰入金	2,572,719,778	6.65
20 繰越金	1,041,284,085	2.69
21 諸収入	990,826,310	2.56
22 市債	2,020,906,000	5.23
歳入合計	38,675,444,409	100.00

歳 出

区 分	金 額	構成比
	円	%
1 議会費	240,957,017	0.65
2 総務費	3,551,722,080	9.56
3 民生費	14,400,314,455	38.74
4 衛生費	2,795,940,822	7.52
5 労働費	30,000	0.00
6 農林水産業費	382,347,296	1.03
7 商工費	893,132,785	2.40
8 土木費	1,822,242,117	4.90
9 消防費	1,511,178,955	4.07
10 教育費	3,398,752,923	9.14
11 災害復旧費	0	0.00
12 公債費	2,075,094,994	5.58
13 諸支出金	6,098,071,446	16.41
14 予備費	0	0.00
歳出合計	37,169,784,890	100.00

4 健康推進課の構成・事務分掌

(1) 構成

令和6年度

※令和6年4月1日現在（育児休暇中職員含む）

子ども健康部次長兼 健康推進課長	1	健康推進係	40 （内 正職 30 会計年度10）	主幹（3人、内保健師2人）
				課長補佐（5人、内保健師1人、歯科衛生士2人）
				係長（3人、内保健師1人）
				保健師（20人、内会計年度6人）
				歯科衛生士（1人）
				臨床心理士（1人、会計年度）
				看護師（3人、内会計年度1人）
				事務職（4人、内会計年度2人）
	2	病院事業管理係		主幹（1人）
				課長補佐（1人）

保健師（正職 24人 会計年度 8人）

健康推進課	
正職	18人
会計年度	6人
保険医療課	
正職	2人
会計年度	1人
社会福祉課	
会計年度	1人

子ども福祉課	
正職	2人
高齢福祉課	
正職	1人
人事秘書課	
正職	1人

歯科衛生士（正職 3人）

健康推進課	
正職	3人

管理栄養士（正職 2人）

保険医療課	
正職	2人

(2) 事務分掌

健康推進係
<ul style="list-style-type: none"> ・課の庶務に関すること。 ・保健センターの管理及び運営に関すること。 ・地域医療に関すること。 ・食品衛生に関すること。 ・献血に関すること。 ・感染症に関すること。 ・保健予防思想の普及に関すること。 ・健康の相談及び指導（保険医療課に属するものを除く。）に関すること。 ・各種健診（検診）（保険医療課に属するものを除く。）に関すること。 ・母子健康手帳の交付に関すること。 ・予防接種に関すること。 ・自殺対策に関すること。 ・養育医療に関すること。 ・その他健康推進に関すること。
病院事業管理係
<ul style="list-style-type: none"> ・病院事業の運営及び管理に関すること。 ・病院事業会計に関すること。 ・病院事業の資産管理に関すること。 ・病院施設及び設備の維持及び管理に関すること。 ・その他病院事業に関すること。

5 保健センターの概要

<p>甚目寺保健センター (甚目寺総合福祉会館内)</p>	<p>七宝保健センター</p>
<p>所在地：あま市西今宿馬洗46番地 敷地面積：6,770㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 3階建 建築面積：2,844㎡ 延床面積：5,096㎡ 工期：着工 平成5年6月12日 完成 平成6年8月31日 設計監理：株式会社 浦野設計 施工：株式会社フジタ名古屋支店 総事業費：3,033,805千円</p> 	<p>所在地：あま市七宝町桂弥勒28番地 敷地面積：1,863.36㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,082.356㎡ 工期：着工 昭和60年6月14日 完成 昭和61年3月15日 設計監理：株式会社石川一級建築士事務所 施工：村本建設株式会社名古屋支店 総事業費：245,280千円</p> 
<p>美和保健センター</p>	
<p>所在地：あま市花正中之割2番地 敷地面積：2,749.6㎡ 建築構造：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,779.3㎡ 工期：着工 昭和61年7月8日 完成 昭和62年2月20日 設計監理：株式会社丹羽英二建築事務所 施工：安藤建設株式会社名古屋支店 総事業費：334,254千円</p> 	

6 保健統計

(1) 人口と世帯

各年10月1日現在

年 \ 区分	世帯数	人口		
		総数	男	女
令和元年	35,167	87,651	43,549	44,102
令和2年	34,041	86,126	42,561	43,565
令和3年	34,451	86,015	42,480	43,535
令和4年	34,716	85,719	42,261	43,458
令和5年	35,350	85,801	42,298	43,503
愛知県	3,327,701	7,480,897	3,725,279	3,755,618

資料：愛知県衛生年報

(2) 年齢3区分別人口割合

各年10月1日現在

年 \ 区分	人口	年少人口 (人)	年少人口 割合(%)	生産年齢 人口(人)	生産年齢 人口割合 (%)	高齢人口 (人)	高齢人口 割合(%)
令和元年	87,651	11,770	13.5	52,385	60.1	23,007	26.4
令和2年	87,629	11,694	13.4	52,392	60.1	23,057	26.5
令和3年	86,015	11,440	13.3	51,554	59.9	23,021	26.8
令和4年	85,719	11,306	13.2	51,489	60.1	22,924	26.7
令和5年	85,801	11,133	13.0	51,798	60.4	22,870	26.7

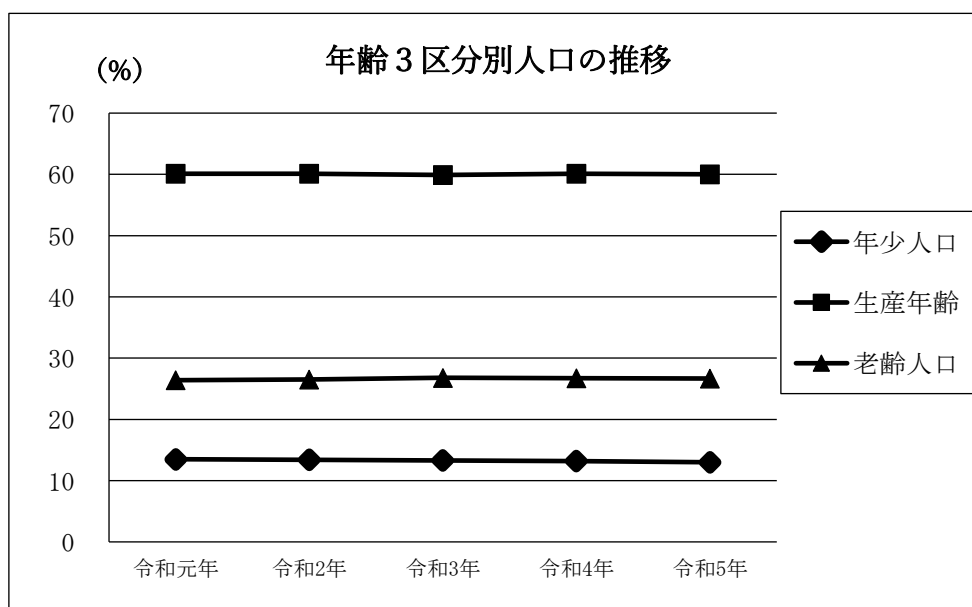
資料：愛知県統計年鑑

(注) 用語の説明

年少人口：14歳以下の人口

生産年齢人口：15歳以上64歳以下の人口

高齢人口：65歳以上の人口



(3) 人口動態統計

(単位：人)

区分 年	出生数				死亡数				自然増減数	
	総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率
令和元年	657	354	303	7.5	841	473	368	9.6	△184	△2.1
令和2年	681	380	301	7.9	843	483	360	9.8	△162	△1.9
令和3年	681	342	339	7.9	958	555	403	11.1	△277	△3.2
令和4年	588	303	285	6.9	977	545	432	11.4	△389	△4.5
令和5年	556	257	299	6.5	1,003	560	443	11.7	△447	△5.2
愛知県	48,402	24,674	23,728	6.5	80,557	42,676	37,881	10.8	△32,155	△4.3
区分 年	乳児死亡数				新生児死亡数		死産数			
	総数	男	女	率	実数	率	総数	自然	人工	率
令和元年	0	0	0	0.0	0	0.0	8	5	3	12.0
令和2年	1	1	0	1.5	0	0.0	12	4	8	17.3
令和3年	1	1	0	1.5	1	1.5	10	4	6	14.5
令和4年	1	1	0	1.7	0	0.0	6	2	4	10.1
令和5年	2	2	0	3.6	0	0.0	10	3	7	18.0
愛知県	90	42	48	1.9	41	0.8	924	475	449	19.1
区分 年	周産期死亡数				婚姻件数		離婚件数			
	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡	率	総数	率	女	率		
令和元年	2	2	0	3.0	426	5	168	1.9		
令和2年	0	0	0	0.0	356	4	175	2.0		
令和3年	0	0	0	0.0	356	4	163	1.9		
令和4年	0	0	0	0.0	384	4	148	1.7		
令和5年	1	1	0	1.8	333	3.9	134	1.6		
愛知県	152	120	32	3.1	31,759	4.2	10,928	1.5		

資料：愛知県衛生年報

(注1) 用語の説明

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週間未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週間未満の死亡

死産：妊娠12週以後の死産

周産期死亡：妊娠22週以降の死産＋早期新生児死亡

(注2) 率算出の計算式

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡・新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{周産期死亡数}}{\text{出生＋妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出生（出生＋死産）数}} \times 1,000$$

(4) 低体重児出生数

(単位：人)

区分 年	総数	500g 未満	500～999g	1,000～ 1,299g	1,300～ 1,499g
令和元年	67	1	4	1	1
令和2年	63	0	1	0	4
令和3年	65	0	1	1	0
令和4年	60	0	2	3	0
令和5年	40	0	0	2	0
愛知県	4,936	20	144	109	131
区分 年	1,500～ 1,799g	1,800～ 1,999g	2,000～ 2,299g	2,300～ 2,499g	(参考) 2,500g
令和元年	6	4	19	31	1
令和2年	8	2	19	29	3
令和3年	3	7	21	32	0
令和4年	0	3	19	33	1
令和5年	3	2	11	22	3
愛知県	297	329	1,323	2,583	49

資料：愛知県衛生年報

(5) 選択死因別死亡数・死亡率

(単位：人)

区分 年	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧性疾患	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
令和元年	841	959.5	4	4.6	256	292.1	5	5.7	3	3.4
令和2年	843	978.8	1	1.2	237	275.2	7	8.1	2	2.3
令和3年	958	1,113.8	3	3.5	298	346.5	7	8.1	2	2.3
令和4年	977	1,139.8	1	1.2	302	352.3	4	4.7	2	2.3
令和5年	1,003	1,169.0	2	2.3	266	310.0	4	4.7	3	3.5
愛知県	80,557	1,076.8	103	1.4	20,427	273.1	585	7.8	246	3.3
区分 年	心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
令和元年	116	132.3	50	57.0	8	9.1	53	60.5	12	13.7
令和2年	129	149.8	52	60.4	12	13.9	32	37.2	9	10.4
令和3年	115	133.7	69	80.2	15	17.4	37	43.0	9	10.5
令和4年	89	103.8	61	71.2	17	19.8	36	42.0	10	11.7
令和5年	134	156.2	64	74.6	19	22.1	44	51.3	15	17.5
愛知県	9,414	125.8	4,980	66.6	1,234	16.5	3,346	44.7	706	9.4
区分 年	喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
令和元年	0	0.0	9	10.3	15	17.1	63	71.9	19	21.7
令和2年	0	0.0	14	16.3	16	18.6	58	67.3	21	24.4
令和3年	0	0.0	4	4.7	23	26.7	75	87.2	30	34.9
令和4年	0	0	19	22.2	21	24.5	102	119.0	19	22.2
令和5年	0	0	6	7.0	17	19.8	105	122.4	25	29.1
愛知県	34	0.5	802	10.7	1,386	18.5	11,184	149.5	2,187	29.2
区分 年	自殺		資料：愛知県衛生年報							
	実数	率								
令和元年	10	11.4								
令和2年	23	26.7								
令和3年	19	22.1								
令和4年	8	9.3								
令和5年	14	16.3								
愛知県	1,149	15.4								

(注) 用語の説明

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

2 母子保健事業

※太字は新規事業



2 母子保健事業

令和6年度に子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持し、全ての妊婦、子育て世帯、子どもに対する一体的な相談支援機能を有する

「こども家庭センター」を設置しました。こども家庭センターでは、健康推進課で行ってきた「子育て世代包括支援センター」に関する事業及び子ども福祉課で行ってきた「子ども家庭総合支援拠点」に関する事業をこれまでどおり実施しながら、母子保健機能と児童福祉機能の連携を強化した「利用者支援事業（こども家庭センター型）」を新たに開始しました。

こども家庭センター設置に伴う母子保健機能と児童福祉機能の連携強化に係る業務の見直しとして、令和5年度まで健康推進課で実施していた妊産婦の孤立感を解消し、家事・育児援助を行う「産前・産後ヘルプ事業」を子ども福祉課が所管する、18歳未満の未成年者を養育する家庭（ヤングケアラー等）を対象とする「子育て世帯訪問支援事業」に統合し、対象者を拡大して実施しています。

また、令和6年7月から、子育て支援アプリ「あまっこなび、あまっこエール」を導入し、健康推進課の乳幼児健診の記録、予防接種のスケジュールの自動調整だけではなく、子ども福祉課及び保育課を含めたプッシュ型の通知及び子育て情報を掲載し、妊娠期から子育て世代まで幅広く、更に個々に応じた丁寧な子育て支援及び保護者の利便性の向上を図っています。

その他、妊婦健康診査支援事業では、妊婦健康診査（14回分）と子宮がん検診1回に、多胎妊娠の方を対象に、5回分の健康診査を追加し、その費用を補助しています。また、全ての妊婦及び0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯を対象とした伴走型相談支援及び出産・子育て応援金支給事業の一体的事業を子ども福祉課とともに実施しました。

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和6年度
				最終実績 (人)
1	母子健康手帳交付	随時	手帳の使い方、妊産婦・乳児健診の受診票の利用方法、保健事業の案内、妊娠届出時アンケートの実施、面談（多胎妊婦に対し、5回分の受診票を追加）	584 (多胎7)
2	子育て支援アプリ あまっこなび あまっこえ〜る	随時	子育て支援アプリによる、乳幼児健診の記録、予防接種のスケジュールの自動調整に加え、プッシュ型の通知や子育て情報を掲載 令和6年7月から配信	会員数 802 登録数 922
3	利用者支援事業 (こども家庭センター型)	随時	妊娠期及び子育て期における母子保健や育児に関する相談	577
		随時	妊産婦や母子が利用できる母子保健サービス等の選定及び情報提供	577
		随時	妊産婦を対象とした支援プラン（サポートプラン）策定	157
		12回	要支援検討会（合同ケース会議）	183
		3回	子育て支援連絡会議（地域資源の開拓）	3回
4	伴走型相談支援	1回	妊娠届出（母子健康手帳交付）時の面談	577
		1回	妊娠8か月頃までの面談	18
		1回	生後4か月までの面談	536
	出産応援金	1回	妊娠届出時のアンケートをもとに面談を実施した妊婦を対象に支給	586
	※ 子育て応援金 (子ども福祉課所管)	1回	出生届出後に面談を実施した産婦等を対象に支給	560

NO	事業名		実施時期 ・回数	事業内容	令和6年度
					最終実績 (人)
5	パパママ教室		12回	分娩について・沐浴・お父さんの妊婦体験・交流会	208
	パパママ 歯科健康診査		9回	歯科医師の診察・相談・講話	36
6	子育て世帯訪問支援 事業		随時	産前・産後に体調不良等のため、家事又は育児を行うことが困難な世帯（18歳未満の未成年者を養育する家庭）に支援者が訪問し、家事・育児援助を行う ※子ども福祉課所管	12 (294時間)
7	産前・産後 サポート事業		随時	助産師による訪問（母乳相談等）	6 (実6)
8	産後ケア事業		随時	保健指導を必要とする産後1年未満の母親とその乳児が一定期間、医療機関に入院し、母体の管理及び生活指導、乳房管理、沐浴や授乳等の育児相談を実施 利用期間7日（上限）	21 (63日)
9	妊産婦乳児 健康診査	妊婦 多胎	1人15回 1人5回	医療機関において実施する妊婦健康診査（14回・多胎妊婦には5回追加）、子宮がん検診（1回）、産婦健康診査（1回）、乳児健康診査（2回）、新生児聴覚検査（生後4週間）の費用を助成	県内 7,202 県外 204
		産婦	1人1回		県内 484 県外 35
		乳児	1人2回		県内 902 県外 33
		新生児聴 覚検査	1人1回		県内 465 県外 30
10	3～4か月児 健康診査		28回	生後3～4か月児を対象に予診、身体計測、医師の診察、母乳相談	567/570 99.5%
11	1歳6か月児 健康診査		26回	予診、身体計測、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	589/601 98.0%
12	3歳児健康診査		32回	予診、身体計測、視力・聴力検査、屈折検査・医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	726/735 98.8%
13	ふたごちゃんみつご ちゃん交流会		3回	多胎児の母親及び妊婦を対象とした親子遊びや交流会	16
14	離乳食教室		前期12回	栄養士による離乳食の話、交流会 前期：生後4～6か月児の保護者 後期：生後8～11か月児の保護者	107
			後期8回		50
15	親子で遊ぼう！ 歯っぴい教室		10回	生後8か月～11か月の乳児と保護者を対象に歯科衛生士によるむし歯予防・歯の手入れの話、親子遊び、ボランティアによる絵本の読み聞かせ・わらべ歌、交流会	78
16	子育て相談	育児一般相談	48回	全年齢を対象に身体計測と保健師による個別相談	1,242
		栄養相談		全年齢を対象に栄養士による離乳食や偏食等についての栄養指導	157
		母乳相談		産婦を対象に助産師による母乳相談及び授乳指導	91
		歯科相談	36回	歯科衛生士による個別相談	20

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容		令和6年度
					最終実績 (人)
17	心理相談	23回	臨床心理士による子どもの発達に関する個別相談		29
18	健診事後教室	48回	臨床心理士・保育士・保健師による遊びを通しての児の発達支援と母の育児支援		235
19	学校保健員会	5回	こころの健康づくり（自殺予防対策）、睡眠、食育等についての情報共有及び検討		421
20	福祉実践教室	1回	美和高校1年生を対象に妊婦体験や育児体験の実施		20
21	家庭訪問	随時	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問）、未熟児、乳幼児健診未受診者・要フォロー児、妊産婦への支援、虐待予防のための訪問	妊婦	17
				乳児（乳児家庭全戸訪問含む）	615
				幼児	44
				その他	584
22	一般不妊治療費助成	随時	不妊治療を受けている夫婦（事実婚含む）に対し、ホルモン療法等の一般不妊治療費に要した本人負担額の1/2（50,000円上限）を助成		41
23	未熟児養育医療給付	随時	入院医療を必要とする未熟児の保護者に対し養育医療費を給付		24

3 母子保健事業詳細

(1) 利用者支援事業

令和6年度から子育て世代包括支援センターとこども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持し、すべての妊婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援機能を有する「こども家庭センター」を設置し、「利用者支援事業（こども家庭センター型）」を開始しています。子育て支援事業や教育・保育施設、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるよう、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行なうとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行うものであります。

・こども家庭センター型 母子保健機能

保健センターでは、妊娠の届出時の面談等で得た情報を基に、保健師による、妊娠・出産・育児に関する相談への対応と支援プラン（サポートプラン）の作成により妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援体制を構築しています。

なお、妊娠届出時の面談等により得た情報を基にスクリーニングした妊婦に関しては、保健センターで定期開催する要支援検討会（合同ケース会議）において、支援方針及び進捗状況の協議を行っています。

ア 母子健康手帳交付

母子健康手帳を交付することで、妊婦の自覚を高め、妊婦自らが健康管理できるよう支援しています。また、同時に妊婦アンケートを行うことにより、妊婦の心身の健康状態を確認し、支援のニーズの有無を把握しています。

交付場所：甚目寺・七宝・美和保健センター

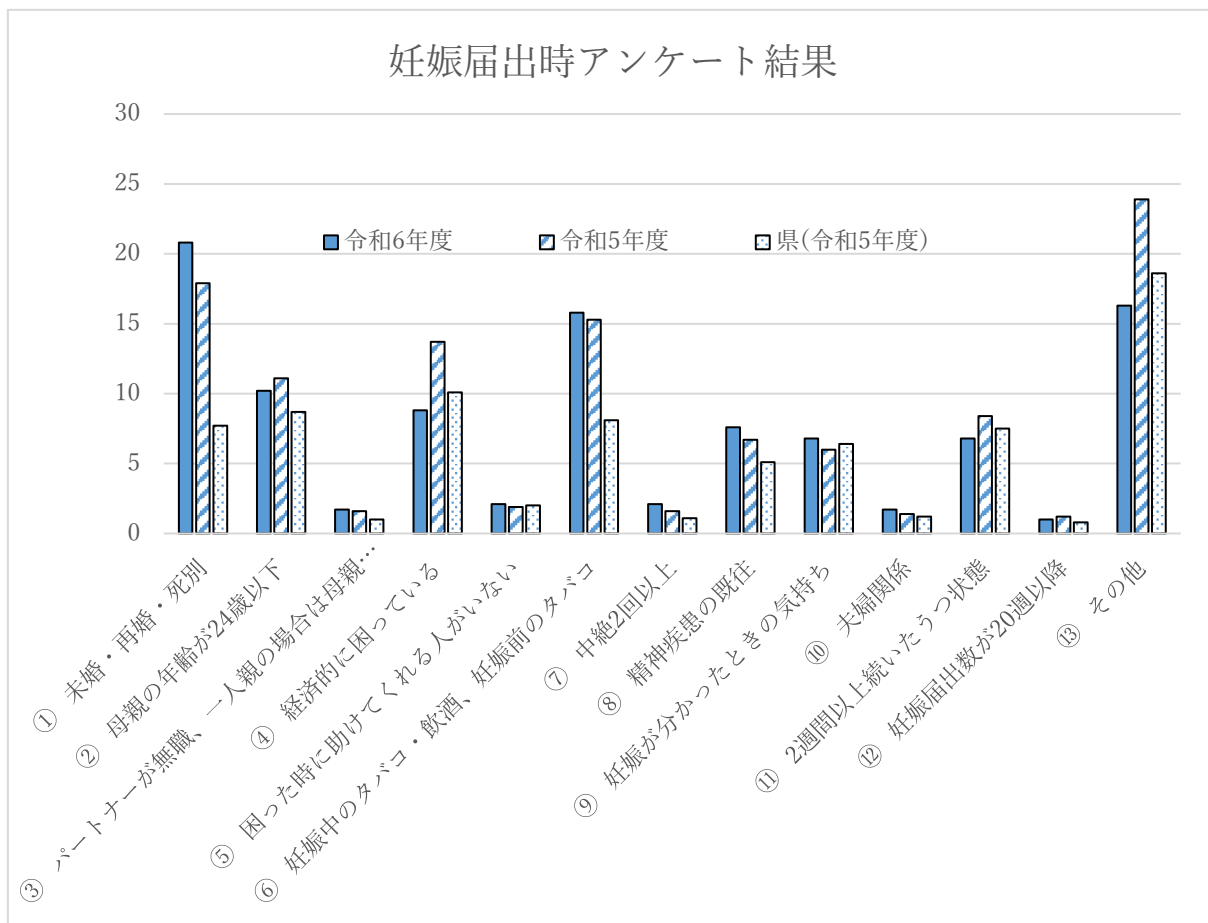
（単位：人）

区分 年度	母子健康 手帳 交付数	妊娠 届出数	届出時の妊娠週数					
			満 11 週 以内	満 12～ 19 週	満 20～ 27 週	満 28 週 以上	分娩後	不詳
令和 2 年	672	660	637 (96.5)	17 (2.6)	4 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.2)	1 (0.2)
令和 3 年	623	615	593 (96.4)	15 (2.4)	3 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.3)
令和 4 年	590	584	555 (95.0)	20 (3.4)	6 (1.0)	2 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.2)
令和 5 年	576	569	539 (94.7)	23 (4.0)	5 (0.8)	1 (0.2)	1 (0.2)	0 (0.0)
令和 6 年	584	577	548 (95.0)	23 (4.0)	4 (0.7)	2 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
区分 年度	母の年齢		就業 あり	喫煙 あり	飲酒 あり	双胎	再交付	
	20 歳未満	40 歳以上						
令和 2 年	6 (0.9)	23 (3.5)	429 (65.0)	15 (2.3)	1 (0.2)	12 (1.8)	17	
令和 3 年	3 (0.5)	25 (4.1)	449 (73.0)	13 (2.1)	2 (0.3)	8 (1.3)	17	
令和 4 年	4 (0.7)	20 (3.4)	420 (71.9)	8 (1.4)	0 (0.0)	6 (1.0)	19	
令和 5 年	7 (1.2)	23 (4.0)	423 (74.3)	14 (2.5)	0 (0.0)	7 (1.2)	11	
令和 6 年	7 (1.2)	20 (3.5)	470 (81.5)	10 (1.7)	2 (0.3)	7 (1.2)	9	

※（ ）内は届出数と比較した割合（％）

妊娠届出時のアンケート結果

項目	令和 6 年度		令和 5 年度		県 令和 5 年度
	人	率 (%)	人	率 (%)	率 (%)
① 未婚・再婚・死別	120	20.8	102	17.9	7.7
② 母親の年齢が 24 歳以下	59	10.2	63	11.1	8.7
③ パートナーが無職、一人親の場合は母親が無職	10	1.7	9	1.6	1.0
④ 経済的に困っている	51	8.8	78	13.7	10.1
⑤ 困った時に助けてくれる人がいない	12	2.1	11	1.9	2.0
⑥ 妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ	91	15.8	87	15.3	8.1
⑦ 中絶 2 回以上	12	2.1	9	1.6	1.1
⑧ 精神疾患の既往	44	7.6	38	6.7	5.1
⑨ 妊娠が分かったときの気持ち	39	6.8	34	6.0	6.4
⑩ 夫婦関係	10	1.7	8	1.4	1.2
⑪ 2 週間以上続いたうつ状態	39	6.8	48	8.4	7.5
⑫ 妊娠届出数が 20 週以降	6	1.0	7	1.2	0.8
⑬ その他	94	16.3	136	23.9	18.6
妊娠届出数	577		569		



イ 要支援検討会・ケース検討会 検討数

(単位:人 ()は%)

区分 年度	検討 会 (回)	再)ケ ース検 討会	妊娠 届出 数	検討数		検討結果(件)				
				新規	継 続 者	ハイリ スク 妊婦 レベル0	要支援妊婦			特定妊婦 レベル4
							レベル1	レベル2	レベル3	
令和 3年	16	4	615	159 (25.9)	8	16 (2.6)	13 (2.1)	120 (19.5)	0 (0.0)	8 (1.3)
令和 4年	15	3	584	206 (33.5)	7	8 (1.3)	13 (2.1)	167 (27.2)	3 (0.5)	11 (1.8)
令和 5年	15	3	569	209 (35.9)	12	19 (3.3)	9 (1.6)	156 (27.4)	6 (1.0)	11 (1.9)
令和 6年	15	2	577	183 (31.7)	6	26 (4.5)	39 (6.7)	102 (17.6)	9 (1.5)	4 (0.6)

※参加機関：保健センター、子育てコンシェルジュ、子ども福祉課

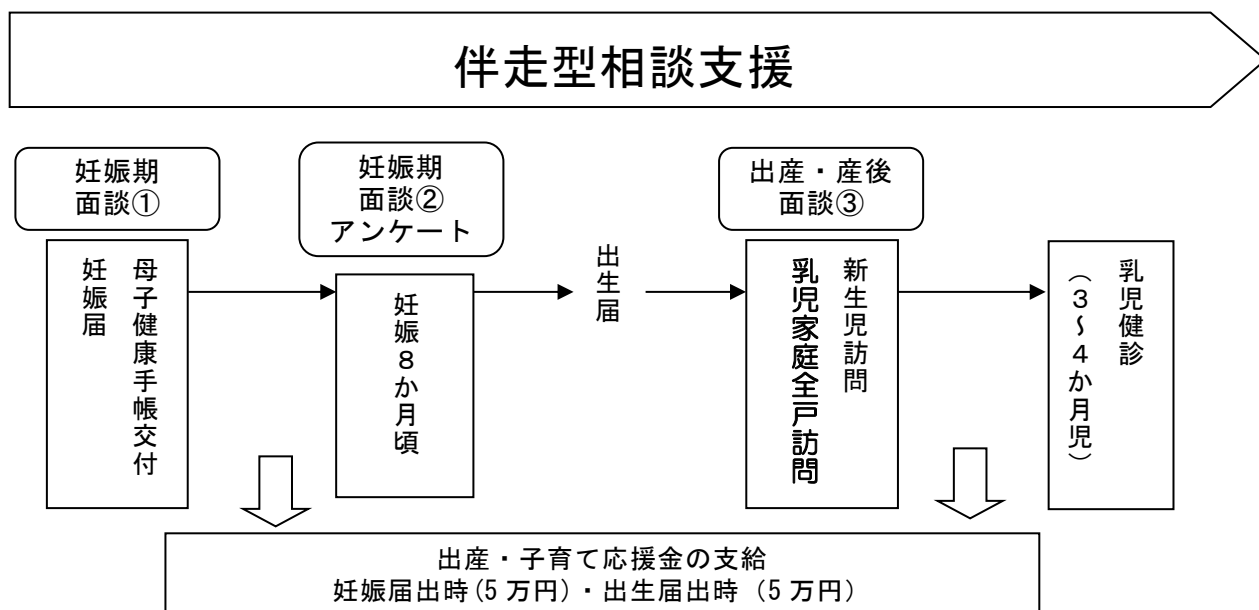
※妊娠届出数：当該年度4月から翌年3月まで。検討会開催月：当該年度5月から翌年4月まで

(2) 伴走型相談支援

伴走型相談支援とは、孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭に対し、全ての妊婦・子育て家庭にアンケート及び面談により、相談に応じ、必要な情報提供を行い、サービスにつなぐ支援を行う事業です。

保健センターでは、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じるため、妊娠届時の妊娠期面談①、妊娠8か月頃に行う妊娠期面談②、生後4か月頃までに行う出産・産后面談③（乳児家庭全戸訪問）を実施しており、支援の必要な方には、継続的にフォローしています。

なお、妊娠期面談①と出産・産后面談③を受けた方には、出産・子育て応援金支給事業の規定に基づき、応援金が支給されています。（令和7年度から妊婦支援給付金給付事業）



妊娠期面談②（妊娠 8 か月頃） 毎月 1 回（月始め）にアンケートを郵送

	令和 5 年度	令和 6 年度
郵送数	533 人	524 人
返信	363 人 (68.1%)	399 人 (76.2%)
未返信者への 電話対応	170 人	125 人
面接・訪問	12 人 (2.2%)	19 人 (3.6%)

アンケートの返信がない方に対しては、電話により確認

※出産・子育て応援金

令和 5 年 1 月から妊娠届出時のアンケートをもとに面談を実施した妊婦を対象に出産応援金を健康推進課所管で支給しています。また、出生届出後に面談を実施した産婦等を対象に子育て応援金を子ども福祉課所管で支給しています。

区分 年度	出産応援金支給者数（人）	子育て応援金支給者（人）
令和 4 年	910 (年度内に出産した産婦も含む)	507
令和 5 年	586	599
令和 6 年	586	560

(3) 産前産後の支援事業

ア 産前・産後サポート事業

平成 30 年度から助産師が妊産婦の妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、家庭訪問により相談を行なっています。

区分 年度	実人数（人）	延人数（人）
令和 2 年	16	16
令和 3 年	16	16
令和 4 年	20	21
令和 5 年	13	13
令和 6 年	6	6

イ 産後ケア事業

平成 30 年度から 8 か所の産科医療機関への委託により宿泊型・デイサービス型の区分で実施しています。利用者負担は、宿泊型が 1 泊あたり 7,000 円、デイサービス型が 1 日あたり 3,500 円であり、生活保護世帯又は市町村民税が非課税である世帯は無料となります。

区分 年度	委託医療機関数		申請者 (人)	利用実績 (件数)	
		医療機関名		(日数)	利用区分 (人数)
令和 2 年	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	8	4 (20 日)	2 泊 3 日 (1)、3 泊 4 日 (1)、 5 泊 6 日 (1)、6 泊 7 日 (1)
令和 3 年	3	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック	6	6 (33 日)	1 泊 2 日 (1)、3 泊 4 日 (1)、 5 泊 6 日 (1)、6 泊 7 日 (3)
令和 4 年	4	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科	2	2 (5 日)	1 泊 2 日 (1)、2 泊 3 日 (1)
令和 5 年	5	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科 日本赤十字医療センター名 古屋第一病院	9	9 (35 日)	1 泊 2 日 (2)、2 泊 3 日 (2) 4 泊 5 日 (2)、6 泊 7 日 (2) デイ 1 日 (1)
令和 6 年	8	貴子ウィメンズクリニック セブンベルクリニック 大橋産婦人科クリニック 真野産婦人科 日本赤十字医療センター名 古屋第一病院 岩田病院 キャッスルベルクリニック 国立病院機構名古屋医療セ ンター	24	21 (63 日)	1 泊 2 日 (6)、2 泊 3 日 (11) 4 泊 5 日 (2)、6 泊 7 日 (1) デイ 1 日 (1)

(4) 妊産婦・乳児健康診査（医療機関委託）

妊産婦及び乳児の健康診査並びに妊婦の H B s 抗原検査及び梅毒血清反応検査（S T S）に要した費用を助成することで、妊産婦及び乳児の健康の保持・増進、異常の早期発見・早期治療並びに B 型肝炎の母子感染を防止し、結果をもとに医療機関と連携しています。

令和 5 年 4 月出生時から新生児聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため新生児聴覚検査の助成を開始しています。

令和 6 年 4 月妊娠届出時から多胎妊婦に対し、妊婦健康診査受診票を 5 枚追加交付しています。

ア 妊産婦健診

(単位：人)

区分 回数	受診者数	県外受診 (再掲)	異常なし	所見あり	H B s 抗体 (+)
第 1 回	580	3	547	33	1
第 2 回	567	5	549	18	
第 3 回	549	6	536	13	
第 4 回	541	6	517	24	
第 5 回	541	4	509	32	
第 6 回	521	5	486	35	
第 7 回	512	11	472	40	
第 8 回	543	6	420	123	
第 9 回	501	26	462	39	
第 10 回	506	27	445	61	
第 11 回	450	30	424	26	
第 12 回	500	28	400	100	
第 13 回	334	25	326	8	
第 14 回	197	19	189	8	
多胎 (5回分)	1	0	1	0	
子宮頸がん	563	3	550	13	
産後	519	35	486	33	

イ 乳児健診

(単位：人)

区分 月 齢	受診者数	受 診 結 果						
		異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲)要医療		要精密 検査
						精神面	身体面	
1～2 か月	535	515	4	6	6	0	6	4
3～5 か月	567	381	53	69	40	0	40	24
6～8 か月	57	52	0	4	1	0	1	0
9～12 か月	343	276	3	61	2	0	2	1

ウ 新生児聴覚検査

(単位：人)

受診者数	検査方法		検査結果					
	ABR	OAE	パス	リファー				
495	481	14	489	6				
確認検査		確認検査結果		精密検査		精密検査結果		
受診者	未受診者 +スキップ	パス	リファー	受診者	未受診者	正常	異常	不明
4	2	1	3	5	0	3	2	0

※スキップとは、医師等が確認検査を不要と判断して実施せず、精密検査を実施した人数

エ 年度別受診者数（全体）

（単位：人）

回数 年度	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回
令和 2 年	656	649	648	663	662	640	633	674	640	662
令和 3 年	603	608	607	612	611	611	613	652	619	654
令和 4 年	582	578	567	573	563	555	528	553	536	547
令和 5 年	567	538	529	543	552	555	546	577	521	557
令和 6 年	580	567	549	541	541	521	512	543	501	506
回数 年度	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	多胎 (5 回分)	子宮頸 がん	乳児健診		産婦	新生児 聴覚検査
							第 1 回	第 2 回		
令和 2 年	572	630	437	273		627	657	466	660	
令和 3 年	567	624	424	285		577	683	447	673	
令和 4 年	474	521	373	223		558	594	440	591	
令和 5 年	476	527	375	219		540	588	433	580	481
令和 6 年	450	500	334	197	1	563	535	400	519	495

オ 年度別受診者数（県外助成）（再掲）

（単位：人）

回数 年度	申請 者数	助成枚数 (枚)	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
令和 2 年	64	464	9	10	10	12	16	16	19	18	34
令和 3 年	53	329	4	6	4	4	9	10	15	10	30
令和 4 年	47	279	2	3	4	1	4	5	9	5	25
令和 5 年	53	364	7	7	7	9	9	9	12	9	25
令和 6 年	40	302	3	5	6	6	4	5	11	6	26
回数 年度	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	多胎 (5 回分)	子宮 頸がん	乳児健診		産婦	新生児 聴覚検査
								第 1 回	第 2 回		
令和 2 年	52	46	50	40	28		8	47	1	48	
令和 3 年	35	35	34	27	22		2	40	0	42	
令和 4 年	37	30	36	30	19		2	30	1	36	
令和 5 年	35	36	33	32	22		6	38	1	38	29
令和 6 年	27	30	28	25	19	0	3	33	0	35	30

カ 年度別受診率

(%)

回数 年度	対象 者数	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
令和 2 年	693	94.7	93.7	93.5	95.7	95.5	92.4	91.3	97.3	92.4
令和 3 年	638	94.5	95.3	95.1	95.9	95.8	95.8	96.1	102.2	97.0
令和 4 年	600	97.0	96.3	94.5	95.5	93.8	92.5	88.0	92.2	89.3
令和 5 年	577	98.3	93.2	91.7	94.1	95.7	96.2	94.6	100.0	90.3
令和 6 年	577	100.5	98.3	95.1	93.8	93.8	90.3	88.7	94.1	86.8

回数 年度	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	多胎 (5回分)	子宮 頸がん	産婦
令和2年	95.5	82.5	90.9	63.1	39.4		90.5	95.2
令和3年	102.5	88.9	97.8	66.5	44.7		90.4	105.5
令和4年	91.2	79.0	86.8	62.2	37.2		93.0	98.5
令和5年	96.5	82.5	91.3	65.0	38.0		93.6	100.5
令和6年	87.7	80.0	86.7	57.9	34.1	28.6	97.6	89.9

※対象者数：(前年度の妊娠届出数+当該年度の妊娠届出数) / 2、多胎については、(前年度の多胎妊娠届出数+当該年度の妊娠届出数) / 2

種目 年度	乳児健診第1回		乳児健診第2回		新生児聴覚検査	
	対象者数	受診率	対象者数	受診率	対象者数	受診率
令和2年	695	94.5%	712	65.4%	—	—
令和3年	670	101.9%	716	62.4%	—	—
令和4年	611	97.2%	695	63.3%	—	—
令和5年	577	101.9%	656	66.0%	569	84.5%
令和6年	548	97.6%	606	66.0%	538	92.0%

*対象者数：第1回 当該年度10月1日現在の0歳児人口

第2回 当該年度10月1日現在の1歳児人口

新生児聴覚検査 当該年3月1日～次年2月末日生まれ

(5) 乳幼児健康診査

乳児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診（歯科保健事業に記載）及び3歳児健診を実施することにより、乳幼児の健全な発育の確認及び育児支援を行っています。

ア 3～4か月児健康診査

生後3～4か月児を対象に発育・栄養状態の確認、先天的な病気の有無・早期発見に努めるとともに、育児に対する不安や悩みの解消を図ります。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療		要精密 検査
								精神面	身体面	
令和2年	38	754	719 95.4%	551 (76.6)	65 (9.0)	85 (11.8)	15 (2.1)	0 (0.0)	15 (2.1)	3 (0.4)
令和3年	38	692	681 98.4%	519 (76.2)	59 (8.7)	82 (12.0)	15 (2.2)	0 (0.0)	15 (2.2)	6 (0.9)
令和4年	32	618	616 99.7%	461 (74.8)	51 (8.3)	71 (11.5)	14 (2.3)	0 (0.0)	14 (2.3)	19 (3.1)
令和5年	29	573	574 100.1%	410 (71.4)	43 (7.5)	73 (12.7)	10 (1.7)	0 (0.0)	10 (1.7)	38 (6.6)
令和6年	28	570	567 99.5%	381 (67.2)	53 (9.3)	69 (12.2)	40 (7.0)	0 (0.0)	40 (7.0)	24 (4.2)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
令和2年	0	0	0	0	0	0
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	12	10	2	0	0	0
令和5年	28	17	10	1	0	1
令和6年	24	20	4	0	0	0

イ 1歳6か月児健康診査

運動機能・精神発達の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、う蝕の予防、幼児の栄養及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療		要精密 検査
								精神面	身体面	
令和2年	29	718	697 97.1%	612 (87.8)	25 (3.6)	46 (6.6)	8 (1.1)	0 (0.0)	8 (1.1)	6 (0.9)
令和3年	33	789	790 100.1%	705 (89.2)	37 (4.7)	31 (3.9)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	7 (0.9)
令和4年	30	696	679 97.6%	589 (86.7)	37 (5.4)	29 (4.3)	17 (2.5)	0 (0.0)	17 (2.5)	7 (1.0)
令和5年	28	671	664 99.0%	577 (86.9)	24 (3.6)	38 (5.7)	12 (1.8)	0 (0.0)	12 (1.8)	13 (2.0)
令和6年	26	601	589 98.0%	481 (81.7)	40 (6.8)	44 (7.5)	5 (0.8)	0 (0.0)	5 (0.8)	19 (3.2)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
令和2年	3	1	0	2	0	2
令和3年	3	0	2	1	0	1
令和4年	3	0	1	2	0	2
令和5年	8	2	4	2	0	2
令和6年	19	2	9	8	0	8

ウ 3歳児健康診査

視覚・聴覚・運動・発達等の障がいを早期に発見し、適切な指導を行います。また、う蝕の予防、発育・栄養・生活習慣及び育児に関する相談・指導を行います。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施 回数 (回)	一 般 健 康 診 査								
		対象 者数	受診 者数 受診率	受 診 結 果						
				異常 なし	既医療	要観察	要医療	(再掲) 要医療		要精密 検査
								精神面	身体面	
令和2年	31	717	698 97.4%	524 (75.1)	9 (1.3)	85 (12.2)	5 (0.7)	0 (0.0)	5 (0.7)	75 (10.7)
令和3年	33	780	761 97.6%	631 (82.9)	38 (5.0)	36 (4.7)	10 (1.3)	0 (0.0)	10 (1.3)	46 (6.0)
令和4年	31	726	719 99.0%	624 (86.8)	22 (3.1)	18 (2.5)	3 (0.4)	0 (0.0)	3 (0.4)	52 (7.2)
令和5年	30	713	714 100.1%	566 (79.3)	27 (3.8)	20 (2.8)	7 (1.0)	1 (0.1)	7 (1.0)	94 (13.2)
令和6年	32	735	726 98.7%	566 (78.0)	40 (5.5)	29 (4.0)	9 (1.2)	2 (0.3)	7 (1.0)	82 (11.3)

※ () 内は受診者数と比較した割合 (%)

・精密検査受診状況

(単位：人)

区分 年度	精 密 検 査					
	受診者 数	異常 なし	要観察	要医療	(再掲) 要医療	
					精神面	身体面
令和2年	16	4	11	1	0	1
令和3年	3	3	0	0	0	0
令和4年	10	8	0	2	0	2
令和5年	60	8	34	18	0	18
令和6年	57	8	40	9	0	9

令和5年度から、屈折検査機器の導入により受診者数が増えています。

・視力検査（屈折検査）結果

区分 年度	要 精 検 者 数	一次検診等結果					精検結果		
		①	②	③	④	⑤	異常なし	異常あり	診断名
令和 5 年	75	0	0	0	9	66	6	49	弱視、乱視、 遠視、不同視
令和 6 年	79	1	0	1	11	66	11	31	弱視、乱視、 遠視、不同視

① 異常の疑いあり（視覚アンケート項目 1～10 でいずれか 1 項目にでも「はい」と回答）

② 異常の疑いあり（視力検査項目 1、2 の両方とも「はい」と回答し、視力検査項目 3、4、5 のいずれかに「いいえ」と答えたもの）

③ 再検査（視力検査項目 1、2 のいずれか 1 項目に「いいえ」と回答）

④ 異常の疑いあり（視力検査項目 1、2 の両方とも「はい」と回答し、視力検査項目 3、4、5 のいずれかに「いいえ」と答えたもの）

⑤ 異常の疑いあり（測定機器のスクリーニング基準を満たすもの）

エ 虐待予防

乳幼児健診は、すべてのお子さんを対象とする事業であり、受診前には保護者に健診アンケートを記入していただき、育児に対しての現状を把握し、相談に応じています。

健診未受診児は子どもの虐待につながるリスクが高く、産後うつ状態、閉じこもり等の育児上の問題を抱える保護者や発達の遅れを持つ乳幼児が潜在していることが考えられます。また、健診アンケートから、月齢が上がるほど、しつけのし過ぎ、感情的に叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったことがある方が増えていることがわかります。

未受診者に対して、電話や訪問等で状況確認と受診勧奨を行い、必要に応じて子ども福祉課や保育園等に連絡を取り、児の安全確認を行うことにより、全数把握に努めています。

令和 6 年度健診アンケート

問 この数か月の間にご家庭 で次のことがありましたか（複 数回答）	乳児健診 （生後 3 ～ 4 か月）			1 歳 6 か月児健診			3 歳児健診		
	あま市		県	あま市		県	あま市		県
	数 (人)	率 (%)	率 (%)	数 (人)	率 (%)	率 (%)	数 (人)	率 (%)	率 (%)
しつけのし過ぎがあった	9	1.6	0.4	14	2.4	1.3	41	5.6	3.8
感情的に叩いた	3	0.5	0.5	26	4.4	2.7	37	5.1	4.5
乳幼児だけを家に残して外出した	2	0.4	0.6	5	0.8	0.5	2	0.3	0.5
長時間食事を与えなかった	2	0.3	0.1	1	0.2	0.1	1	0.1	0.1
感情的な言葉で怒鳴った	24	4.2	3.8	90	15.3	13.9	188	25.9	27.2
子どもの口をふさいだ	1	0.2	0.3	1	0.2	0.3			
子どもを激しく揺さぶった	2	0.4	0.1	2	0.3	0.1			
該当なし	530	93.5	94.1	478	81.2	83.2	494	68.0	69.4

※県率は R5 年度実績

(6) 健康教室・健康教育

パパママ教室、離乳食教室、親子で遊ぼう！歯っぴい教室等の各種教室を行い、乳幼児の発育支援、保護者に対する助言を行っています。離乳食教室は、保護者が講話に集中できるよう託児を用意しています。パパママ教室では、父親を対象に妊婦体験、沐浴・おむつ交換等の体験及び、子育て支援センターで実際の子育て中の親子との交流会を行い、出産後の赤ちゃんのイメージをつけ、育児への不安を解消し、前向きに子育てができるよう取り組んでいます。令和6年度より新たに開始した親子で遊ぼう！歯っぴい教室では、親子の関係構築に大切な生後8～11か月の時期に、親子で楽しい時間を過ごしてもらえるような教室を目指し、むし歯予防や歯のお手入れ方法の紹介に加えて、絵本の読み聞かせとわらべうた、親子ふれあい遊びと保護者交流会を取り入れました。

ア パパママ教室(マタニティ教室)

(単位:人)

区分 年度	一 般 編					栄 養 編				
	回数 (回)	参加 者数	再掲			回数 (回)	参加 者数	再掲		
			初産	経産	父親			初産	経産	父親
令和2年	8	121	60	3	58	5	19	13	2	4
令和3年	9(1)	119	61	6	52	4	8	7	0	1
令和4年	11(1)	171	88	7	76					
令和5年	12(4)	172	74	11	81					
令和6年	12	208	102	6	100					

※令和3年度からウェブでの教室を実施。()内はウェブでの実施回数を再掲

イ 離乳食教室

(単位:人)

区分 年度	対象者数	回数 (回)	参加者数	参加率 (%)	(再掲) 健診事後指導
令和2年	730	13	82	11.2	0
令和3年	509	10	73	14.3	1
令和4年	700	20	135	19.3	0
令和5年	736	20	124	16.8	0
令和6年	前期 773	12	107	13.8	0
	後期 686	8	50	7.3	

※令和4年度からNPO法人ママ・ぷらすに委託し実施

ウ ふたごちゃん・みつごちゃん交流会

(単位:人)

区分 年度	回数 (回)	参加者数	再掲		
			妊婦	産婦	父親
令和2年	3	23	4	19	0
令和3年	3	21	4	17	0
令和4年	3	19	2	16	1
令和5年	3	12	0	12	0
令和6年	3	16	1	13	2

エ 親子で遊ぼう！歯っぴい教室 (単位：人)

区分 年度	対象者数	回数 (回)	参加者数	参加率 (%)
令和 6 年	615	12	78	12.7

(7) 相談事業

乳幼児の発育を支援し、保護者に対して育児に関する不安を軽減できるよう、子育て相談、心理相談等を行っています。

ア 子育て相談

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	参加者内訳					個別相談内訳				再掲) 健診事後指導			
		乳児	再掲) 初	幼児	再掲) 初	計	保健	栄養	歯科	母乳	乳児		幼児	
											初	延	初	延
令和 2 年	32	469	212	393	144	862	226	141	64	91	53	59	5	5
令和 3 年	43	628	272	460	129	1,088	287	206	51	126	97	115	25	39
令和 4 年	48	847	298	617	124	1,464	466	227	71	122	128	155	13	20
令和 5 年	48	755	263	559	148	1,314	315	188	42	108	94	107	4	4
令和 6 年	48	702	251	540	145	1242	196	157	20	91	57	75	2	4

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止(中止したが、実施予定日に子育て相談希望者が来所した場合は相談を実施したため、実施回数・参加者に計上)

イ 心理相談 (随時)

(単位：人)

区分 年度	相 談 対 象 者 内 訳							
	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳以上	合計
令和 2 年	0	7	11	5	1	0	1	25
令和 3 年	0	10	13	18	2	7	3	53
令和 4 年	0	4	11	13	3	4	1	36
令和 5 年	0	3	12	15	7	1	0	38
令和 6 年	0	4	6	15	2	2	0	29

ウ 事後教室（まっっこ教室、つくしんぼ教室、たんぼぼ教室）（単位：人）

区分 年度	まっっこ教室				つくしんぼ教室				たんぼぼ教室			
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ
令和 2 年	12	19	49	3	13	33	77	3	20	53	104	12
令和 3 年	9	16	48	2	19	38	94	10	19	42	99	9
令和 4 年	12	21	87	4	23	35	116	3	24	46	169	3
令和 5 年	12	22	65	5	24	40	125	5	24	49	180	14
令和 6 年	12	17	56	1	12	16	67	2	24	38	112	5
区分 年度	合計											
	回数 (回)	実人数	参加延 人数	母子通 園施設 へ								
令和 2 年	45	105	230	18								
令和 3 年	47	96	241	21								
令和 4 年	59	102	372	10								
令和 5 年	60	111	370	24								
令和 6 年	48	71	235	8								

（８）訪問事業

全ての乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供に結び付けます。

また、養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、養育に関する指導、助言を行うことにより、適切な養育の実施を確保します。

子育て世帯訪問支援事業は、令和 5 年度まで実施していた産前産後ヘルプ事業を子ども福祉課が所管する 18 歳未満の未成年者を養育する家庭を対象とする子育て世帯訪問支援事業に統合し実施しました。

ア 区分別訪問（単位：人）

区分 年度		長 期 療養児	乳 児			幼児	妊婦	産婦
			新生児	未熟児	その他			
令和 2 年	実人数	0	39	57	564	130	18	621
	延人数	0	41	60	591	145	20	627
令和 3 年	実人数	1	52	30	650	185	16	684
	延人数	1	55	32	670	220	21	694
令和 4 年	実人数	0	34	33	540	134	10	572
	延人数	0	35	34	599	185	15	586
令和 5 年	実人数	0	40	41	513	43	10	570
	延人数	0	40	47	543	58	23	589
令和 6 年	実人数	0	26	47	475	36	14	524
	延人数	0	33	55	527	44	17	549

※資料：地域保健事業報告より

イ 乳児家庭全戸訪問（再掲）

年度 \ 区分	対象者数	訪問件数	再掲）委託
令和 2 年	695	621	－
令和 3 年	684	684	－
令和 4 年	587	562	91
令和 5 年	598	521	72
令和 6 年	557	536	101

※令和 4 年度から乳児家庭全戸訪問の一部を NPO 法人ママ・ぶらすに委託

※資料：健康推進課 乳児家庭全戸訪問実績表より

ウ 養育支援訪問（再掲）

年度 \ 区分	実件数	延件数	延件数再掲	
			専門的相談	育児・家事援助 （産前産後ヘルプ事業）
令和 2 年	35	35	35	
令和 3 年	43	77	77	
令和 4 年	36	125	96	29
令和 5 年	14	55	43	12
令和 6 年	23	65	65	

※資料：愛知県地域子ども・子育て支援事業費補助金より

※産前産後ヘルプ事業は、令和 5 年度まで実施。令和 6 年度からは子ども福祉課所管の「子育て世帯訪問支援事業」に統合し実施

エ 子育て世帯訪問支援事業

年度 \ 区分	申請者数	利用者数	利用総時間数
令和 6 年	15	12	294

※健康推進課受付分のみ

（９）一般不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦への一般不妊治療に要する費用の助成することで、経済的な負担の軽減を図り、少子化対策の充実を図ります。令和元年度に助成金額を 4 万 5 千円から 5 万円に増額し、令和 3 年度以降は所得制限も撤廃されました。

また、令和 4 年 4 月から不妊治療が保険適用となりましたが、市としては、保険適用となっても経済的な負担があると考え、一般不妊治療助成事業を引き続き実施しています。

（単位：人）

年度 \ 区分	申請者数	助成件数	母子健康 手帳交付数
令和 2 年	57	57	22
令和 3 年	74	74	15
令和 4 年	43	42	16
令和 5 年	36	35	4
令和 6 年	41	41	12

(10) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児(出生児の体重が2,000グラム以下等)が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を公費により負担する制度となります。

・年度別給付件数

区分 年度	申請者数 (人)	再掲) 双子	給付実件数 (人)	給付延件数 (人)
令和2年	27	1組	29	81
令和3年	22	3組	23	45
令和4年	19	1組	19	36
令和5年	16	2組	15	41
令和6年	23	4組	24	47

・年度別体重別給付件数

(単位：人)

区分 年度	1,000g 以下	1,000g 以上 1,500g 以下	1,501g 以上 1,800g 以下	1,801g 以上 2,000g 以下	2,001g 以上 2,300g 以下	2,301g 以上 2,500g 以下	2,501g 以上
令和2年	1	4	9	0	1	1	8
令和3年	0	1	3	7	3	0	7
令和4年	4	5	0	1	1	0	6
令和5年	1	2	2	2	1	0	4
令和6年	2	3	1	8	1	1	3

※新規給付者のみ

【参考】低出生体重児届出

区分 年度	届出数 (件)
令和2年	49
令和3年	40
令和4年	47
令和5年	46
令和6年	41

3 健康増進事業

1 健康増進事業

健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、市民の健康増進の推進に関する施策についての計画を策定するように努めるものとされ、市では第2次あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育推進計画を策定し、平成29年度から令和8年度までの10年間、健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図るとともに介護を要する状態に陥ることを予防し、自立の促進と援助のため、健康づくりに関する事業を実施しています。

NO	事業名		実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度
						最終実績 (人)
1	健康手帳交付		随時	40歳以上	希望者に随時配付	7
2	健康相談		随時	希望者	健康に関する相談	583
3	栄養相談		随時	希望者	栄養に関する個別相談	8
4	胃がん検診	個別	6～10月	50歳以上前年度 内視鏡未受診者	胃内視鏡検査	944
		集団	28回	40歳以上前年度 内視鏡未受診者	胃部レントゲン直接 撮影	1,318
						1,070
5	大腸がん検診	個別	6～10月	40歳以上	便潜血検査	3,881
		集団	28回			1,551
	がん検診 推進事業 (クーポン)	集団	5～2月	41歳	便潜血検査	56
6	肺がん検診	個別	6～10月	40歳以上	胸部レントゲン直接撮影、喀 痰検査[50歳以上の喫煙指数（1 日の喫煙本数×喫煙指数）が600 以上の方で希望者] 【喀痰再掲】	4,443 【喀痰35】
		集団	28回			1,401 【喀痰15】
7	前立腺がん検診	個別	6～10月	50歳以上 男性	P S A検査（血液検査）	1,749
		集団	28回			676
8	子宮がん検診	個別	6～10月	20歳以上女性で 前年度子宮がん 検診未受診者	視診、頸部または体部細胞診 検査(6か月以内に不正出血、月 経異常、褐色のおりものがあった 方で希望者) 【体部再掲】	1,087 【体部71】
		集団	18回		視診、頸部細胞診検査	786
	がん検診 推進事業 (クーポン)	個別	6～2月	21歳女性	視診、頸部細胞診検査	30
		集団	18回			3

NO	事業名		実施時期 ・回数	対 象	事業内 容	令和6年度
						最終実績 (人)
9	乳がん検診	個別	6～10月	30歳以上39歳以下の女性	視触診、超音波検査	393
				40歳以上女性で前年度乳がん(マンモ)検診未受診者	マンモグラフィ検査	736
		集団	27回		マンモグラフィ検査	793
	がん検診 推進事業 (クーポン)	個別	6～2月	41歳女性	マンモグラフィ検査	67
		集団	27回			24
10	肝炎ウイルス 検査	個別	6～10月	41歳以上70歳以下で過去に肝炎検査を受けたことがない方	B型・C型肝炎ウイルス検査 (血液検査)	14
		集団	28回			25
	健康増進事業 (クーポン)	集団	28回	40歳	B型・C型肝炎ウイルス検査 (血液検査)	89
11	30・35歳 健診	集団	3回	30・35歳	身体計測、血圧、血液検査	108
12	すこやか 健診	集団	3回	40歳以上 生活保護受給者	身体計測、血圧、血液検査、 心電図	7
13	骨粗しょう 症検診	集団	3回	20歳以上70歳以下の女性で前年度骨粗しょう症検診未受診者	骨粗しょう症の早期発見と予防 踵骨(かかと)の超音波検査	109
14	乳がん 検診法 自己 指導		27回	乳がん検診 受診者	乳がん検診受診者への自己検 診法指導	817
15	骨粗しょう 症 栄養 指導		3回	骨粗しょう症 検診受診者	骨粗しょう症検診の結果、要 指導、要精検になった方への 栄養指導	48
16	出前講座		16回	希望者	健康づくり、感染症予防等に関する講話	354
17	園児 防煙 教室		16回	市内保育園、幼稚園、認定こども園の年長児	受動喫煙防止の健康教育	629
18	ワクワクからだ教室		36回	希望者	転倒・骨折予防のための体操	572
19	いきいき体操		148回	希望者	健康増進・体力向上のための 体操	1,241

N0	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度
					最終実績 (人)
20	フレイル予防 周知啓発 【一体的事業】 ()は健康推進課 参加分再掲	29回 (11回)	希望者	保険医療課・高齢福祉課・健康推進課・あま市民病院・あま市社会福祉協議会による高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施フレイル予防教室	5,586 (190)
21	低栄養予防資料配布	随時	高齢者	高齢者の低栄養予防周知啓発	293
22	ウォーキングあま	8回	希望者	ウォーキングボランティアが作成したウォーキングマップを使用して市内10コースのウォーキングコースを散策	174
23	M r . あーまん (動画配信)	通年		働く世代を中心に子どもから高齢者まで家庭で出来る健康体操の配信	1,651
24	あま体操普及啓発 (啓発及び動画配信)	啓発 随時 動画配信 通年		「ずっとWe Love あま体操!」を市民体操として啓発	啓発回数 20回 再生回数 6,471回
25	健康マイレージ 事業	6～12月	【一般コース】 市内在住・在勤・在学の方	健康づくりにつながる取組を实践したマイレージ(20ポイント)獲得者へ「優待カード」および抽選で「健康グッズ」等を進呈	1,357 (内アプリ 95)
		6～9月	【小中学校コース】あま市小中学校の児童・生徒・保護者	健康づくりにつながる取組を实践したマイレージ(20ポイント)獲得者の人数に応じて学校へ交付金を交付	10,656
26	健康づくり応援店	通年	あま市内の店舗	野菜摂取量促進メニューの促進、食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただける店舗を登録し、周知を図る	新規登録 店舗数 1店舗
27	生き生き推進隊 活動支援			健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育計画を推進するためのサポーターの育成及び活動支援 ・健康に関する勉強会 ・研修の企画 ・計画した活動をする場の提供 ・ボランティアグループ活動支援 ・自主活動に向けた助言指導	30回 (役員会:11回 定例会:13回 イベント等周知活動:6回)

NO	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度
					最終実績 (人)
28	食育ボランティア グループ活動支援			地域の食育活動を推進していくためのボランティア活動を支援 ・食育活動の企画、実施についての助言 ・ボランティアグループ登録支援	35回 (定例会:20回 食育活動に向けた調整:8回 周知活動:5回 ボランティア登録支援:2回)
29	家庭訪問	随時	希望者及び関係機関から連絡等	疾病の治療や自立に向けての相談、支援	19
30	がん患者アピアランスケア支援事業	随時	がん治療に伴う補整具の購入者	がん患者の治療による脱毛や乳房の形状の変化に対するウィッグや、乳房補整具の購入費用を補助	ウィッグ 22 乳房補整具 19
31	健康都市連合日本支部総会・大会	健康都市連合日本支部の加盟団体による総会及び大会を開催して、互いに情報交換を行い、各団体の取り組みの共有をおこなうとともに、健康づくりに関するボランティア団体の日ごろの活動発表及びPRの場を提供。			令和6年度 大阪市吹田市で開催

2 健康増進事業詳細

(1) 健康手帳交付

健康手帳を交付することで、健康診査の記録や健康の保持のために必要な事項を記録し、自らが健康管理できるよう支援します。

交付場所：七宝・美和・甚目寺保健センター、がん検診、健康相談、各種教室

(単位：人)

区分 年度	40～74 歳		75 歳以上		計	
	男	女	男	女	男	女
令和 2 年	2	2	2	2	4	4
令和 3 年	0	2	0	0	0	2
令和 4 年	5	5	2	4	7	9
令和 5 年	0	4	2	2	2	6
令和 6 年	0	2	4	1	4	3

※新規交付のみ

(2) 健康相談

健康について悩み事や不安がある方を対象に、保健師による健康相談を実施し健康の保持増進を図ります。

【日時指定】

・実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	内容
令和 2 年	13	62	日時、会場指定での、保健師による血圧測定・健康相談
令和 3 年	27	98	
令和 4 年	38	205	
令和 5 年	38	233	
令和 6 年	38	293	

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数 (人) / 実施回数					
	人権ふれあいセンター	本郷憩の家	森憩の家	新居者憩の家	七宝老人福祉センター	美和総合福祉センター すみれの里
令和 2 年	7/1 回	5/1 回	11/1 回	13/2 回	4/4 回	22/4 回
令和 3 年	8/1 回	18/4 回	11/2 回	15/3 回	0/9 回	46/8 回
令和 4 年	11/2 回	27/4 回	34/4 回	39/4 回	4/12 回	90/12 回
令和 5 年	15/2 回	26/4 回	47/4 回	26/4 回	14/12 回	105/12 回
令和 6 年	8/2 回	31/4 回	56/4 回	53/4 回	36/12 回	109/12 回

※令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

【随時】

ア 健康相談、栄養相談

区分 年度	健康相談		栄養相談
	実施回数 (回)	相談者数 (人)	
令和2年	随時	0	4
令和3年	随時	125	10
令和4年	随時	235	3
令和5年	随時	349	3
令和6年	随時	583	8

イ 精神保健福祉相談（アの相談者の再掲）

（単位：人）

区分 年度	面接							訪問					
	実人数	延人数	内訳					実人数	延人数	内訳			
			ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害			ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害
令和2年	15	27	0	0	5	0	0	2	2	0	1	0	0
令和3年	8	13	0	0	1	0	0	5	19	0	0	0	0
令和4年	20	47	3	0	2	0	0	8	11	0	2	0	0
令和5年	20	71	0	0	1	0	0	6	16	0	2	0	0
令和6年	16	39	1	0	0	0	0	8	19	0	0	0	0

区分 年度	電話・電子メール					
	延人数	内訳				
		ひきこもり	発達障害	自殺関連	犯罪被害	災害
令和2年	90	1	0	12	0	0
令和3年	107	0	0	2	0	0
令和4年	181	2	0	9	0	0
令和5年	233	1	1	1	0	0
令和6年	134	0	0	0	0	0

(3) 健康診査

成人の健康診査として、がん検診や肝炎ウイルス検査、30・35 歳健診などを実施し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげ、市民の健康向上や健康管理の推進を行います。

ア がん検診

がん検診を実施することにより、がんの早期発見、早期治療につなげます。

① 各種がん検診年度別受診状況

(単位：人)

区分 年度	胃がん		子宮がん		乳がん	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
令和 2 年	2,611	4.9	1,147	3.1	780	2.8
令和 3 年	2,759	5.2	1,505	4.2	1,193	4.4
令和 4 年	3,527	6.6	1,729	4.7	1,499	5.4
令和 5 年	3,159	5.9	1,785	4.9	1,484	5.4
令和 6 年	3,332	6.1	1,906	5.1	1,620	5.7
区分 年度	肺がん		大腸がん		前立腺がん	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
令和 2 年	4,666	8.8	4,288	8.0	1,926	10.5
令和 3 年	5,213	9.8	5,036	9.5	2,129	11.4
令和 4 年	5,815	10.8	5,495	10.2	2,382	12.5
令和 5 年	5,610	10.4	5,299	9.8	2,318	11.9
令和 6 年	5,844	10.6	5,488	10.0	2,425	11.8

※子宮がん・乳がんは単年受診率

※乳がん検診は、マンモグラフィのみ

② 胃がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者 数	受診者数			受診率 (%)	要精検者数			要精検 率 (%)
		X線 検査	内視鏡 検査	合計		X線 検査	内視鏡 検査	合計	
40～44 歳	5,359	165		165	3.1	4		4	2.4
45～49 歳	6,472	192		192	3.0	4		4	2.1
50～54 歳	8,079	211	78	289	3.6	3	2	5	1.7
55～59 歳	6,394	175	81	256	4.0	3	2	5	2.0
60～64 歳	4,952	190	76	266	5.4	6	2	8	3.0
65～69 歳	4,045	265	82	347	8.6	9	6	15	4.3
70 歳以上	19,674	1,190	627	1,817	9.2	76	38	114	6.3
合 計	男	26,737	1,200	1,644	6.1	62	27	89	5.4
	女	28,238	1,188	1,688	6.0	43	23	66	3.9
	計	54,975	2,388	3,332	6.1	105	50	155	4.7

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者 数	精検受診者 数	精検受診率(%)	精密検査結果												受診拒否	未把握
				異常所見なし	胃がん	食道がん	悪性リンパ腫	その他のがん	胃・十二指腸潰瘍	胃ポリープ	粘膜下腫瘍	胃・十二指腸潰瘍癒痕	胃炎	がんの疑い又は未確定	その他		
40～44 歳	4	3	75.0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
45～49 歳	4	3	75.0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
50～54 歳	5	5	100.0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0
55～59 歳	5	5	100.0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0
60～64 歳	8	7	100.0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0
65～69 歳	15	14	93.3	0	0	1	0	0	0	5	0	1	6	0	1	1	0
70 歳以上	114	107	93.9	14	8	2	0	1	4	21	3	8	38	2	6	2	5
合 計	男	89	79	88.8	11	5	3	0	0	1	19	2	8	28	0	2	6
	女	66	65	98.5	10	3	0	0	1	3	14	1	3	22	2	6	0
	計	155	144	92.9	21	8	3	0	1	4	33	3	11	50	2	8	6

③ 大腸がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数		受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40～44 歳	5,359		258	4.8	10	3.9
45～49 歳	6,472		278	4.3	13	4.7
50～54 歳	8,079		413	5.1	21	5.1
55～59 歳	6,394		350	5.5	22	6.3
60～64 歳	4,952		416	8.4	30	7.2
65～69 歳	4,045		559	13.8	45	8.1
70 歳以上	19,674		3,214	16.3	314	9.8
合 計	男	26,737	2,433	9.1	245	10.1
	女	28,238	3,055	10.8	210	6.9
	計	54,975	5,488	10.0	455	8.3

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	精密検査結果										受診拒否	未把握
				異常なし	大腸がん	ポリープ(非腺腫を含む)	憩室	痔疾患	胃疾患	潰瘍性大腸炎	クローン病	がんの疑い又は未確定	その他		
40～44 歳	10	9	90.0	2	1	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0
45～49 歳	13	8	61.5	3	0	3	2	0	0	0	0	0	0	2	3
50～54 歳	21	13	61.9	5	0	6	0	2	0	0	0	0	0	5	3
55～59 歳	22	16	72.7	3	2	7	0	3	0	0	0	0	1	4	2
60～64 歳	30	26	86.7	4	1	18	0	2	0	0	0	0	1	3	1
65～69 歳	45	29	64.4	1	3	16	4	2	0	0	0	0	3	14	2
70 歳以上	314	217	69.1	18	16	141	20	16	0	0	0	0	6	57	40
合計	男	245	175	71.4	11	16	117	15	13	0	0	0	3	42	28
	女	210	143	68.1	25	7	78	12	13	0	0	0	8	44	23
	計	455	318	69.9	36	23	195	27	26	0	0	0	11	86	51

④ 肺がん検診

・年代別男女別受診状況

(単位：人)

区分 年齢		対象者数	受診者数	再掲) 喀痰細胞 診検査	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40～44 歳		5, 359	230	0	4. 3	2	0. 9
45～49 歳		6, 472	264	0	4. 1	3	1. 1
50～54 歳		8, 079	358	3	4. 4	4	1. 1
55～59 歳		6, 394	307	2	4. 8	0	0. 0
60～64 歳		4, 952	390	1	7. 9	6	1. 5
65～69 歳		4, 045	544	5	13. 4	7	1. 3
70 歳以上		19, 674	3, 751	39	19. 1	71	1. 9
合 計	男	26, 737	2, 713	46	10. 1	50	1. 8
	女	28, 238	3, 131	4	11. 1	43	1. 4
	計	54, 975	5, 844	50	10. 6	93	1. 6

・年代別男女別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢		要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	精密検査結果							受診拒否	未把握	
					異常所見なし	肺がん	良性肺腫瘍	肺結核			がんの疑い又は未確定			その他 (転移性肺がんを含む)
								活動	不活動	治癒				
40～44 歳		2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
45～49 歳		3	2	66.7	2	0	0	0	0	0	0	1	0	
50～54 歳		4	4	100.0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
55～59 歳		0	0	－	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
60～64 歳		6	6	100.0	3	0	0	0	0	2	1	0	0	
65～69 歳		7	7	100.0	0	1	1	0	0	1	4	0	0	
70 歳以上		71	66	93.0	23	2	0	0	0	8	33	4	1	
合計	男	50	46	92.0	12	1	0	0	0	8	25	3	1	
	女	43	40	93.0	17	2	1	0	0	3	17	2	1	
	計	93	86	92.5	29	3	1	0	0	11	42	5	2	

⑤ 前立腺がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
50～54 歳	4,256	187	4.4	3	1.6
55～59 歳	3,363	174	5.2	9	5.2
60～64 歳	2,568	203	7.9	14	6.9
65～69 歳	1,999	258	12.9	15	5.8
70 歳以上	8,431	1,603	19.0	135	8.4
合 計	20,617	2,425	11.8	176	7.3

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精 検者 数	精 検 受 診 者	精 検 受 診 率 (%)	精密検査結果					受 診 拒 否	未 把 握
				異 常 な し	前 立 腺 が ん	前 立 腺 肥 大 症	が ん 疑 い	そ の 他 の 疾 患		
50～54 歳	3	3	100.0	2	0	0	1	0	0	0
55～59 歳	9	9	100.0	2	0	3	4	0	0	0
60～64 歳	14	13	92.9	2	1	3	7	0	1	0
65～69 歳	15	14	93.3	2	2	4	6	0	1	0
70 歳以上	135	111	82.2	23	17	33	36	2	17	7
合 計	176	150	85.2	31	20	43	54	2	19	7

⑥ 子宮がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者 数	受診 者数	受診率 (%)	一次検査結果				要精検 率 (%)
				異常 なし	要精密 検査	要再 検査	その他 疾患	
20～24 歳	2,325	76	3.3	71	2	0	3	2.6
25～29 歳	2,198	97	4.4	91	1	1	4	1.0
30～34 歳	2,148	156	7.3	143	3	1	9	1.9
35～39 歳	2,311	193	8.4	158	6	1	28	3.1
40～44 歳	2,587	202	7.8	168	5	1	28	2.5
45～49 歳	3,124	215	6.9	167	9	1	38	4.2
50～54 歳	3,823	250	6.5	192	6	5	47	2.4
55～59 歳	3,031	144	4.8	125	0	1	18	0
60～64 歳	2,384	129	5.4	115	0	2	12	0
65～69 歳	2,046	131	6.4	121	0	1	9	0
70 歳以上	11,243	313	2.8	305	1	2	5	0.3
合 計	37,220	1,906	5.1	1,656	33	16	201	1.7

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検 者数	精検 受診者	精検 受診率(%)	精密検査結果						受診拒 否	未把握
				異常所 見なし	上皮内 病変	頸部が ん	体部が ん	その他 疾患	がんの 疑い又 は未確 定		
20～24 歳	2	1	50	0	1	0	0	0	0	0	1
25～29 歳	1	1	100	1	0	0	0	0	0	0	0
30～34 歳	3	2	66.7	1	1	0	0	0	0	0	1
35～39 歳	6	6	100	3	1	0	0	0	2	0	0
40～44 歳	5	3	60	1	2	0	0	0	0	1	1
45～49 歳	9	8	88.9	3	3	0	0	0	2	0	1
50～54 歳	6	6	100	4	1	0	0	1	0	0	0
55～59 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70 歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	33	27	81.8	13	9	0	0	1	4	1	5

⑦ 乳がん検診

・年代別受診状況

(単位：人)

区分 年齢	対象者数	受診者数	受診率 (%)	要精検者 数	要精検率 (%)
40 歳未満	4,459	393	8.8	30	7.6
40～44 歳	2,587	247	9.5	18	7.3
45～49 歳	3,124	199	6.4	20	10.1
50～54 歳	3,823	261	6.8	19	7.3
55～59 歳	3,031	181	6.0	12	6.6
60～64 歳	2,384	144	6.0	4	2.8
65～69 歳	2,046	170	8.3	8	4.7
70 歳以上	11,243	418	3.7	18	4.3
合 計 (40 歳未満含む)	32,697	2,013	6.2	129	6.4
合 計 (40 歳未満除く)	28,238	1,620	5.7	99	6.1

※30 歳代は超音波検診、40 歳以上はマンモグラフィによる検診

・年代別精密検査結果

(単位：人)

区分 年齢	要精検者数	精検受診者	精検受診率(%)	精密検査結果				受診拒否	未把握
				異常所見なし	乳がん	がんの疑い又は未確定	その他		
40 歳未満	30	30	100	12	0	4	14	0	0
40～44 歳	18	16	88.9	5	1	0	10	0	2
45～49 歳	20	18	90	5	0	3	10	0	2
50～54 歳	19	18	94.7	8	2	0	8	0	1
55～59 歳	12	12	100	3	3	0	6	0	0
60～64 歳	4	4	100	1	0	0	3	0	0
65～69 歳	8	8	100	2	2	0	4	0	0
70 歳以上	18	17	94.4	7	4	2	4	0	1
合 計 (40 歳未満含む)	129	123	95.3	43	12	9	59	0	6
合 計 (40 歳未満除く)	99	93	93.9	31	12	5	45	0	6

イ 肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルスは、感染しても自覚症状に乏しいことから、感染に気付きにくく、適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがあるため、健康増進法に基づく健康増進事業による肝炎ウイルス検査を特定の対象者へ実施しています。

対象者：40～70 歳で、これまで肝炎検査を受けたことがない方

クーポン対象者は、40 歳の方（集団検診のみ）

・年度別実施状況

区分 年度	受診者数	再掲) クーポン	クーポン 対象者	クーポン 受診率 (%)
令和 2 年	15	0	1,085	6.3
令和 3 年	162	138	1,097	
令和 4 年	108	63	1,025	6.1
令和 5 年	101	65	1,070	6.1
令和 6 年	128	89	1,049	8.5

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集団検診中止
令和 3 年度に令和 2・3 年度対象者にクーポン検診を実施

・令和 6 年度年代別実施状況

(単位：人)

区分 年齢	受診者数	再掲) クーポン	B 型		C 型	
			陰性	陽性	陰性	陽性
40～44 歳	96	89	96	0	96	0
45～49 歳	2		2	0	2	0
50～54 歳	4		4	0	4	0
55～59 歳	5		5	0	5	0
60～64 歳	8		8	0	8	0
65～69 歳	10		9	1	10	0
70 歳以上	3		3	0	3	0
合 計	128	89	127	1	128	0

ウ 30・35 歳健診

30 歳・35 歳の者を対象に健康診査を行い、若い世代から生活習慣病の予防に努めることにより、自分の健康への関心を高めます。

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
令和 2 年	中止					
令和 3 年	3,768	296	41	132	10	113
令和 4 年	1,779	101	24	39	4	34
令和 5 年	1,844	126	11	68	6	41
令和 6 年	1,869	108	14	64	8	22

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ すこやか健診（生活保護受給者）

すこやか健診を行うことにより、生活習慣病、要介護状態等になることを予防します。

（単位：人）

区分 年度	受診者数	異常なし	軽度異常	要経過 観察	要医療
令和2年	中止				
令和3年	2	0	0	0	2
令和4年	6	0	1	0	5
令和5年	6	0	1	0	5
令和6年	7	0	1	0	6

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

オ 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は自覚症状がないことが多く、患者自ら病気に気づくことが難しいため、早期に予防や治療に取り組むために、健康増進法に基づく健康増進事業による骨粗しょう症検診を特定の対象者に実施しています。

対象者：20～70歳の女性で、前年度あま市骨粗しょう症検診を受診していない方
（市の検診は2年に1回）

・年度別実施状況

区分 年度	受診者数 （人）
令和2年	
令和3年	
令和4年	85
令和5年	101
令和6年	109

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・令和6年度年代別実施状況

（単位：人）

区分 年齢	受診者数	異常なし	要指導	要精検	要精検率 （%）
20～24歳	0	0	0	0	0.0
25～29歳	0	0	0	0	0.0
30～34歳	2	2	0	0	0.0
35～39歳	0	0	0	0	0.0
40～44歳	5	3	2	0	0.0
45～49歳	8	7	1	0	0.0
50～54歳	25	19	6	0	0.0
55～59歳	20	7	12	1	5.0
60～64歳	17	9	7	1	5.9
65～69歳	25	11	10	4	16.0
70歳	7	1	6	0	0.0
合 計	109	59	44	6	5.5

(4) 健康教育

生活習慣病の予防や、その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を支援します。

ア 乳がん自己検診法指導

乳がんの自己検診の効果を周知し、がんの早期発見につなげるため、集団乳がん検診日において自己検診法の指導を行っています。

区分 年度	参加者数（人）
令和2年	
令和3年	
令和4年	841
令和5年	714
令和6年	817

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 骨粗しょう症栄養指導

骨粗しょう症を予防するため、骨粗しょう症検診の結果、要指導または要精検になった方に対し、栄養指導を行っています。

区分 年度	実施回数（回）	参加者数（人）
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	4	42
令和5年	3	26
令和6年	3	48

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 出前講座

健康づくり等に関する講話を、地域に出向いて行います。

区分 年度	実施 回数 (回)	参加 者数 (人)	内容						
			健口 体操	あま 体操	コツコツ 貯めよう カルシ ウム	ロコモ 教室	あま市 の健康 課題と 取組	こころ の健康	その他
令和元年	6	262				5		1	
令和2年	3	47		2		1			
令和3年	5	107		1		1	3		
令和4年	7	173	2	1		4			
令和5年	11	315	1	3	2	2		1	2
令和6年	16	354	3	2	1	2		7	1

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座回数減少

エ 園児の防煙教室

区分 年度	実施回数 (回)	再掲) 公立 保育園(回)	再掲) 幼稚園・ その他(回)	参加者数 (人)
令和 2 年	9	9	0	291
令和 3 年	9	9	0	241
令和 4 年	13	9	4	404
令和 5 年	17	9	8	744
令和 6 年	16	9	7	629

オ ワクワクからだ教室

体ほぐしや体操で、筋肉を丈夫にして、転倒や骨折を予防し、骨盤底筋群や自律神経などを整えます。令和 3 年度から教室名を「筋力アップクラブ」から「ワクワクからだ教室」に変更しました。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
令和 2 年	12	791	筋力アップ教室
令和 3 年	26	104	ワクワクからだ教室
令和 4 年	33	154	
令和 5 年	36	388	
令和 6 年	36	572	

・年度別会場別実施回数

区分 年度	参加者数 (人) / 実施回数		
	七宝保健センター	美和保健センター	甚目寺保健センター
令和 2 年	26/4 回	10/4 回	68/4 回
令和 3 年	73/9 回	32/8 回	49/9 回
令和 4 年	84/11 回	127/11 回	50/11 回
令和 5 年	99/12 回	194/12 回	95/12 回
令和 6 年	125/12 回	291/12 回	156/12 回

※令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止

カ いきいき体操

DVD による体操やエアロビクス等を実施し、健康増進・体力向上を目指します。

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和 2 年	62	387
令和 3 年	64	369
令和 4 年	128	1,187
令和 5 年	144	1,182
令和 6 年	148	1,241

キ 一体的事業 「フレイル予防教室」

令和3年度から保険医療課、高齢福祉課、健康推進課による高齢者の保健事業と介護予防が一体となったフレイル予防教室を実施しています。

区分 年度	実施回数(回)	参加者数(人)
令和3年	7 (5)	122 (86)
令和4年	14 (9)	345 (236)
令和5年	14 (2)	400 (46)
令和6年	29 (11)	5,586 (190)

※令和4年度は、「笑って元気スクール」として実施

() 内は健康推進課参加分

ク ウォーキングあま

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和2年	4	69
令和3年	1	14
令和4年	10	149
令和5年	9	167
令和6年	8	174

ケ 動画配信

・Mr.あーまん（健康体操）

区分 年度	再生回数(回)	体操の種類(テーマ)
令和4年	1,500	肩こり予防、腰痛予防、膝痛予防
令和5年	1,100	親子遊び、筋トレ、あま体操(椅子)
令和6年	998	正しい姿勢で歩こう、ストレッチ、日常生活でできる運動

コ あま体操普及啓発

・あま体操普及啓発

区分 年度	あま体操 普及啓発(回)	あま体操普及啓発動画 再生回数(回)
令和4年	27	7,000
令和5年	25	5,700
令和6年	20	6,471

サ 低栄養予防の周知・啓発

令和3年度まで、低栄養予防の料理教室を実施していました。令和4年度からは、低栄養予防の必要性についての周知・啓発のため、出前講座や教室（はつらっクラブ、ワクワクからだ教室、いきいき体操、一体的事業）参加者に対し、低栄養予防の冊子を配付しています。

低栄養予防の栄養教室

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)	教室名
令和元年	3	46	しっかり食べよう！お惣菜活用術
令和2年	新型コロナウイルス感染症の影響のため中止		
令和3年	2	5	かんたん調理で長生きごはん

低栄養予防の冊子配布

区分 年度	配布数 (人)
令和4年	322
令和5年	240
令和6年	293

(5) 家庭訪問

療養上の保健指導が必要である家庭を訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行うことで、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ります。

(単位：人)

区分 年度	要指導者等		個別健康教育		閉じこもり予防		介護家族者		寝たきり		認知症		その他	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
令和5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16
令和6年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	19

(6) その他

ア 健康マイレージ

あま健康マイレージを実施することにより、市民一人ひとりが生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組めるよう、行政・企業・市民が連携し、社会全体で個人の健康を支え、守るための環境を整えます。令和2年度以降は、健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」からも一般コースに参加できるようになりました。令和3年度からは、健康グッズの当選者数を拡大することで、市民の健康づくりへの意識づけを強化した結果、健康マイレージ事業への参加者は増加傾向にあります。

・事業概要

コース名	一般コース	小中学校コース
対 象 者	市内在住・在勤・在学者	市内小中学校在学者、その同居家族
実施期間	6月1日～12月20日	6月1日～9月30日
事業内容	健康づくりにつながる取組みを実践、市の主催する健康に関するイベント等に参加すると、マイレージ（ポイント）を獲得でき、20ポイント獲得者に優待カードを交付するとともに、健康グッズを抽選で交付する。	健康づくりにつながる取組みを実践、市の主催する健康に関するイベント等に参加すると、マイレージ（ポイント）を獲得でき、30ポイント獲得した人数に応じて、健康づくりに関する活動等に使用可能な交付金を学校に支給する。

・年度別実施状況 (単位：人)

区分 年度	一般コース	小中学校コース
令和2年	809	7,349
令和3年	994	8,167
令和4年	1,241	10,689
令和5年	1,443	10,881
令和6年	1,357	10,656

・年代別実施状況（一般コース） (単位：人)

区分 年度	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代～		不明	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和2年	31	24	7	18	15	23	21	44	26	44	23	75	138	319	1	809
令和3年	35	25	13	19	22	41	24	60	40	65	28	88	164	370		994
令和4年	35	45	17	28	26	46	47	85	54	99	42	94	182	441		1,241
令和5年	38	50	20	31	34	46	49	77	48	107	46	97	196	489	115	1,443
令和6年	54	47	15	31	27	48	51	81	61	95	48	104	191	504		1,357

イ 健康づくり応援店

市民の健康づくりを推進することを目的とし、野菜をたくさん食べて健康的な生活を送れる環境づくりの一環として「野菜をしっかりと摂れるメニュー（たっぷり野菜♥あまごはん）」の提供や食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただく店舗を紹介しています。

協力店については、ステッカーとのぼりをお渡し、市公式ウェブサイトや市広報で紹介をしています。

年度 \ 区分	新規店舗数（件）
令和4年	5
令和5年	5
令和6年	1

※たっぷり野菜♥あまごはん…1食の食事で、野菜を120g以上（1日の目標摂取量350gの3分の1）使用したメニュー

ウ 活き生き推進隊活動

活き生き推進隊は、「あま市健康づくり計画 歯と口腔保健計画 食育推進計画」を推進し、心身ともに健やかで、活き生きと笑顔で暮らせるまちづくりの実現に寄与することを目的としたサポーターとして、市が実施する保健事業への協力や健康づくりに関する知識の普及・啓発を行っています。

・ 年度別活き生き推進隊員数

年度 \ 区分	隊員数（人）
令和2年	38
令和3年	18
令和4年	22
令和5年	20
令和6年	18

・ 令和6年度 主な活動の内訳

事業名	実施回数	活動内容
あま体操の啓発	18回	サロンや保育園等でのあま体操講座
あまつり、あまのわ	2回	あま体操ステージ発表
がん検診の啓発	5回	市内中学校でのがん検診啓発

・ 令和6年度 その他の活動

事業名	実施回数	活き生き推進隊協力数（延数）	内容
役員会	11回	77	実績報告、事業計画
定例会	13回	129	活動内容についての話し合い、活動の準備、歴史ウォーキング、電子レンジレシピの作成

エ 食育ボランティア

食育ボランティアは、市内在住で、食を通じた健康づくり活動に興味のある方が所属しており、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、バランスのとれた食生活の定着を目的とした市への支援活動や自主的な活動の両面から活動を行っています。

・ 年度別活動者数

区分 年度	活動者（人）
令和元年	29
令和2年	32
令和3年	27
令和4年	27
令和5年	22
令和6年	23

※令和4年度までは食生活改善推進員として活動し、令和5年度より食育ボランティアとなる。

・ 令和6年度 主な活動の内訳

事業名	実施回数	活動内容
料理教室	1回	レシピ作成、調理補助
食育教室	4回	「野菜を取ろう」「だしの取り方」をテーマに子育て中の親を対象とした講話
市広報へのレシピ掲載	2回	レシピ作成（10月号、3月号）

・ 令和6年度 その他の活動

事業名		実施回数	食育ボランティア 協力数（延数）	内容
定例会	甚目寺	10回	50	活動内容についての話し合い、支援事業の準備
	美和	10回	79	

オ ガン患者アピアランスケア支援事業

令和4年7月から、がんに罹患された方の経済的負担を軽減するために、がん治療によるアピアランス（外見）の変貌を補完する補整具（ウィッグや乳房補整具）の購入費用の一部を助成しています。

区分 年度	申請者数（人）	
	ウィッグ	乳房補整具
令和4年	18	8
令和5年	32	14
令和6年	22	19

カ 健康都市連合、健康都市連合日本支部

・健康都市連合（Alliance For Healthy Cities）

健康都市連合とは、WHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局の呼びかけで平成15年に創設された国際的なネットワークです。

都市に住む人の健康を守り、生活の質を向上させるため健康都市に取り組んでいる都市のネットワークを広げることで、各都市の経験を生かしながら、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的としています。

加盟状況

○世界11か国（令和6年5月現在） 188都市、53団体が加盟

○国内（令和6年5月現在） 30都市、6団体

○県内の加盟 尾張旭市、名古屋市、大府市、北名古屋市、長久手市、あま市、愛西市、東浦町

・健康都市連合日本支部への加盟

健康都市連合日本支部は、健康都市連合に加盟していた沖縄県平良市（現宮古島市）・千葉県市川市・愛知県尾張旭市・静岡県袋井市の4市が発起人となり、平成17年に発足しました。

健康都市に関する情報を広く提供するとともに、健康都市の実現に賛同する都市等のネットワークを構築することにより、日本における各都市の地域特性に応じた健康都市の実現に寄与することを目的としています。

あま市は平成26年7月8日に正会員として加盟し、令和5年度開催の第19回健康都市連合日本支部総会・大会の実施会場となっています。

健康都市連合日本支部総会等参加実績

年度	総 会 名	日 時	会 場
令和2年	第16回健康都市連合日本支部総会	7月16日	新型コロナウイルス感染症の影響により 書面開催、大会中止
令和3年	第17回健康都市連合日本支部総会	7月15日	新型コロナウイルス感染症の影響により 書面開催、大会中止
令和4年	第18回健康都市連合日本支部総会	8月4日	オンライン開催
	第18回健康都市連合日本支部大会	11月24日	大阪府泉佐野市
令和5年	第19回健康都市連合日本支部総会 及び大会	7月13日 14日	愛知県あま市
令和6年	第20回健康都市連合日本支部総会 及び大会	7月11日 12日	大阪府吹田市

4 齒科保健事業

1 歯科保健事業

乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、歯科口腔保健を推進するため、母子・成人・高齢者のライフステージに合わせた歯科医師による診察や歯科衛生士による相談事業、歯みがき教室等を実施しました。

NO	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度
					最終実績 (人)
1	パパママ歯科健康診査	9回	妊婦とその夫（パートナー）	歯科医師の診察、相談、講話	36
2	乳児歯科健康診査	28回	3～11か月児	歯科医師の診察、個別相談	567
3	1歳6か月児健康診査	26回	1歳6～8か月児	歯科医師の診察、個別相談	589
4	2歳児歯科健康診査	24回	2歳0～1か月児	歯科医師の診察、歯みがき指導、フッ素塗布、個別指導	571
6	3歳児健康診査	32回	3歳1～2か月児	歯科医師の診察、個別指導	726
7	親子で遊ぼう！歯っぴい教室	10回	8～11か月児	う蝕予防・歯のお手入れ方法の話、絵本の読み聞かせ、わらべ歌、親子遊び、交流会	78
8	子育て相談（歯科）	36回	乳幼児	全年齢を対象に歯科衛生士による歯みがき指導、口腔内全般の個別相談	20
9	保育園・幼稚園歯みがき教室	24回	園児、保護者	園児に対して歯みがき指導、う蝕予防の話	1595
10	歯科保健指導	17回	小中学生	児童、生徒に対して、歯みがき指導、う蝕・歯肉炎予防等の話	603
11	学校保健会 委員	1回	P T A、 教職員等	生活習慣、う蝕・歯肉炎予防等の話	14
12	前期歯の健康センター	1回	乳幼児（就学前）とその保護者	保護者教室、歯科相談等（R6は美和で実施）	52
13	歯科相談	随時	希望者	個別の歯科相談	27

NO	事業名		実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度
						最終実績 (人)
14	歯と口腔 の 健診	集団	9回	18歳以上	歯周病・粘膜等の健診 75歳以上には咬合の状態・咀嚼能力評価・舌機能評価・嚥下機能テストを追加で実施	210
15	はつらつ クラブ (歯科)		5回	65歳以上	オーラルフレイルに関する講話、健口体操等	102
16	10020・9020・ 8020 表彰		随時	100歳以上 90代 80代	20本以上自歯がある方を表彰	72
17	健口体操の 啓発資料配布		随時	65歳以上の 世帯	民生委員による健口体操の資料配布・啓発	10,448
18	歯と口腔保健 推進協議会		年1回		市民、歯科医師等、関係機関及び事業者が連携し、口腔保健事業を総合的かつ計画的に推進するための協議会	1回

2 歯科保健事業詳細

(1) 母子歯科保健事業

乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さや成長に伴う口腔機能の発達について、乳幼児健診での歯科診察や教室での講話で周知し、歯と口腔の発育の確認・支援を行っています。

ア パパママ歯科健康診査（マタニティ教室）（妊婦歯科健診）

区分 年度	対象 者数 (人)	実施 回数 (回)	受診 者数 (人)		妊婦									
					現在 歯数 (本)	健全 歯数 (本)	未処置 歯数 (本)	歯肉出血			歯周ポケット			
			妊婦	父 親				無	有	診査 不可	無	4～ 5mm	6mm 以上	診査 不可
令和 2 年	660	9	34	4	976	844	5	25	9	0	28	6	0	0
令和 3 年	615	5	18	3	505	434	11	10	8	0	15	3	0	0
令和 4 年	584	12	40	4	1, 140	1, 004	7	31	9	0	26	14	0	0
令和 5 年	569	11	33	2	940	805	13	17	16	0	24	9	0	0
令和 6 年	577	9	30	6	840	728	2	16	14	0	27	3	0	0

イ 乳児歯科健診（0歳児歯科健診）

成長が著しい乳児期に対する口腔の健診の中で、歯科医師による適切な指導と、経過観察の指示を行う事により、保護者の不安を軽減し、正常な口腔の発達を促す効果を得ること、また、早期からの歯科健診の定着により、う蝕や歯周疾患、その他口腔疾患の予防を図るために歯科健診を実施しています。

・受診状況及び結果

(単位：人)

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数	受診者数	受診率 (%)	所見あり
令和2年	25	455	315	69.2	32
令和3年	38	681	535	78.6	47
令和4年	32	616	488	79.2	47
令和5年	29	574	500	87.1	45
令和6年	28	570	567	99.5	59

・令和6年度詳細結果

(単位：人)

対象者 数	受診者 数	口腔の発達							
		吸啜窩 不明瞭	顎間空隙 不明瞭	顎非対 称性	小下顎 症	下顎前 突			
570	567	0	6	1	0	0			
摂食嚥下機能発達					軟組織（歯肉、口唇周囲）				
哺乳反 射制限	舌の運 動制限	上唇小 帯強直	舌小帯 強直	口唇閉 鎖不全	先天性 歯	リガフ エーデ	上皮真 珠	ヘルペス性 歯肉口内炎	口唇口 蓋裂
0	0	9	1	0	2	0	38	0	3

ウ 1歳6か月児歯科健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和2年	29	718	694	96.7	1.0	0.02
令和3年	33	789	790	100	0.8	0.02
令和4年	30	696	678	97.4	0.1	0.01
令和5年	28	671	664	99.0	0.8	0.02
令和6年	26	601	589	98.0	0	0

・令和6年度詳細結果

(単位：人)

対象者 数	受診者 数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				01型	02型	A型	B型	C型
601	589	0	0	276	313	0	0	0
歯列・ 咬合異常	軟組織 異常	口腔の その他の 異常	歯垢付着					
72	72	26	5					

(注) 用語の説明

う蝕罹患型 01型:う蝕がなく、かつ口腔環境がよい。

02型:う蝕がないが口腔環境が悪いため、近い将来う蝕発生が予想される。

A型:上顎前歯部のみ、または臼歯部のみう蝕があるもの。

B型:上顎前歯部及び臼歯部にう蝕があるもの。

C型:下顎前歯部を含む、他の部位にう蝕があるもの。

エ 2歳児歯科健康診査

う蝕などの歯科疾患の早期発見及びう蝕の予防、歯科保健の向上を図ることを目的とし、歯科医師の診察や歯みがき指導、希望者に対するフッ化物の塗布を行います。

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和2年	18	710	462	65.1	1.9	0.04
令和3年	29	728	661	90.8	2.3	0.07
令和4年	26	709	639	90.1	1.1	0.02
令和5年	26	721	660	91.5	2.0	0.05
令和6年	24	620	571	92.1	1.4	0.04

・令和6年度詳細結果

(単位：人)

対象者数	受診者数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				01 型	02 型	A 型	B 型	C 型
620	571	20	0	237	326	8	0	0
歯垢付着	フッ化物 塗布							
4	372							

オ 2歳児歯科事後健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和2年	7	14	5	35.7	20.0	0.20
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和4年	0	0	0	0	0	0
令和5年	1	2	2	100	0	0

※令和6年度からは、子育て相談にて対応

カ 3歳児歯科健康診査

・受診状況及び結果

区分 年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	う蝕罹患 者率 (%)	1人あたり う蝕本数 (本)
令和2年	31	717	695	96.9	8.2	0.32
令和3年	33	780	761	97.6	8.1	0.28
令和4年	31	726	719	99	7.1	0.19
令和5年	30	713	714	100.1	4.5	0.13
令和6年	32	735	726	98.8	5.5	0.14

・令和6年度詳細結果

(単位：人)

対象者数	受診者数	う歯数 (総本数) (本)	処置歯数 (本)	う蝕罹患型				
				0 型	A 型	B 型	C1 型	C2 型
735	726	100	6	686	33	4	0	3
反対咬合 (下顎前突)	上顎前突 (過蓋咬合)	開咬	その他の 歯列・ 咬合異常	小帯異 常	歯肉異 常	その他の 軟組織 異常	歯の形態 異常・ 歯数異常	口腔の その他の 異常
31	46	23	33	40	3	0	62	10
歯垢付着	指しゃぶり おしゃぶり							
31	38							

(注) 用語の説明

う蝕罹患型 O型:う蝕がないもの。

A 型:上顎前歯部のみ、または臼歯部のみう蝕があるもの。

B 型:上顎前歯部及び臼歯部にう蝕があるもの。

C1 型:下顎前歯部のみにう蝕があるもの。

C2 型:下顎前歯部を含む、他の部位にう蝕があるもの。

キ 親子で遊ぼう！歯っぴい教室

(単位：人)

区分 年度	回数 (回)	対象者数	参加者数	参加率 (%)	再掲) 健診 事後指導
令和 2 年	12	468	56	12.0	0
令和 3 年	9	434	37	8.5	0
令和 4 年	11	832	97	11.7	0
令和 5 年	12(4)	769	91	11.8	0
令和 6 年	10	686	78	11.4	0

※令和 5 年度ウェブでの教室を実施。() 内はウェブでの実施回数を再掲

ク 子育て相談 (歯科)

区分 年度	参加者数 (人)
令和 2 年	64
令和 3 年	51
令和 4 年	71
令和 5 年	42
令和 6 年	20

ケ 保育園・幼稚園歯みがき教室

幼児期に歯と口腔の健康に関する正しい知識を普及し、生涯にわたる歯及び口腔の保持増進に必要な基本的な保健行動を身につけ、適切な歯みがきや 習慣の定着を図るために、園児の歯科教室を開催しています。

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	再掲) 公立 保育園 (回)	再掲) 幼稚園・ その他 (回)	参加者数 (人)
令和 2 年	中止			
令和 3 年	11	9	2	399
令和 4 年	11	9	2	507
令和 5 年	23	20	3	1,035
令和 6 年	24	21	3	1,595

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

コ 歯みがき教室（小・中学校）

・年度別実施状況

区分 年度	実施場所	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和2年	小学校	12	326
	中学校	5	168
令和3年	中学校	6	190
令和4年	中学校	4	145
令和5年	中学校	5	175
令和6年	小学校	12	441
	中学校	5	162

サ 学校保健委員会

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	参加者数 (人)
令和2年	2	32
令和3年	1	16
令和4年	2	37
令和5年	1	18
令和6年	1	14

シ 前期歯の健康センター

歯と口の健康週間の事業として、歯の健康センター（保護者教室・歯科相談等）を実施しています。令和4年度からは事前予約制となりました。

区分 年度	会場	参加人数 (人)
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	七宝保健センター	45
令和5年	(大治町保健センター)	
令和6年	美和保健センター	52

※令和2年度・令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

(2) 成人歯科保健事業

18歳以上を対象に、歯周病・口腔疾患・う蝕の健診を行うことで、治療につなげ、歯と口腔の健康づくりの意識向上につなげています。また、がん検診または30・35歳健診と同時にいき、健診を受けやすい体制を整えています。

歯と口腔の健診

・年度別実施状況

区分 年度	実施回数 (回)	受診者数 (人)
令和2年	中止	
令和3年	中止	
令和4年	3	66
令和5年	6	177
令和6年	9	210

※令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

・令和6年度実施状況

区分 年齢	受診者数 (人)	現在歯数 (本)	(再掲) 第3大臼歯 (本)	未処置歯 保有者数 (人)	1人平均 現在歯数 (本)
18歳～39歳	110	3,157	108	19	28.7
40歳～44歳	2	56	0	1	28.0
45歳～49歳	4	123	11	0	30.8
50歳～54歳	3	82	1	2	27.3
55歳～59歳	5	132	0	1	26.4
60歳～64歳	7	203	9	2	29.0
65歳～69歳	7	189	1	1	27.0
70歳～74歳	7	174	9	2	24.9
75歳～	65	1,573	38	12	24.2
合計	210	5,689	177	40	27.1

(3) 高齢者歯科保健事業

80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進し、口腔機能の維持・向上や、機能減退による誤嚥・窒息の防止のために、歯科医師による講話や口腔体操の啓発を実施しています。

ア はつらっクラブ（歯科分）

区分 年度	実施回数 (回)	参加人数 (人)
令和 2 年	中止	
令和 3 年	2	14
令和 4 年	6	59
令和 5 年	5	87
令和 6 年	5	102

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

イ 10020・9020・8020 表彰

80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進するため、80 歳代で 20 本以上の歯がある方に対し、表彰を行っています。また、90 代、100 歳以上で 20 本以上の歯がある方に対しても表彰を行っています。

(単位：人)

区分 年度	10020 表彰者数	9020 表彰者数	8020 表彰者数
令和 2 年	1	1	11
令和 3 年	0	3	37
令和 4 年	1	4	48
令和 5 年	1	2	35
令和 6 年	1	8	63

ウ 健口体操の啓発文書配布

平成 30 年度より、あま市民生委員の協力を得て、65 歳以上の世帯に対し、健口体操の配布を実施しています。

区分 年度	配布数 (人)
令和 2 年	10,423
令和 3 年	10,968
令和 4 年	10,451
令和 5 年	10,469
令和 6 年	10,448

エ あま市歯と口腔保健推進協議会

区分 年度	実施回数 (回)
令和元年	1
令和2年	1（書面）
令和3年	1（書面）
令和4年	1
令和5年	1

※令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、書面会議で実施

5 予防接種事業

1 予防接種事業

本市で実施する予防接種は、予防接種法（昭和23年法律第68号）の規定に基づく定期接種として、「BCG」、「4種混合」、「日本脳炎」、「麻しん及び風しん混合」等の子どもを対象とした予防接種と「高齢者インフルエンザ」、「高齢者の肺炎球菌感染症」等の高齢者を対象とした予防接種を実施しています。また定期接種の他、「子どもインフルエンザ予防接種」や「带状疱疹予防接種」等の任意の予防接種に対する費用の一部助成を実施しています。

令和6年度から4種混合にヒブを追加した「5種混合」がA類疾病に係る定期の予防接種に、「高齢者新型コロナウイルス感染症」がB類疾病に係る定期の予防接種に追加され実施しました。

NO	事業名	対象年齢・接種回数	令和6年度
			最終実績 (人)
1	ロタウイルス感染症	ロタックス：生後6週から24週まで・2回 ロタテック：生後6週から32週まで・3回 (ワクチンによって接種時期・回数が異なる)	1,233
2	小児の肺炎球菌感染症	生後2か月から5歳に至るまで (開始年齢によって接種回数が異なる)	2,254
3	B型肝炎	1歳に至るまで・3回 (標準的な接種期間 生後2から9か月)	1,622
4	ヒブ感染症	生後2か月から5歳に至るまで (開始年齢によって接種回数が異なる)	690
5	5種混合	生後2か月から7歳半まで・4回	1,553
	4種混合	生後2か月から7歳半まで・4回	769
6	不活化ポリオ	生後2か月から7歳半まで・4回	0
7	BCG	1歳に至るまで・1回 (標準的な接種期間 生後5から8か月)	546
8	麻しん及び風しん混合 (MR)	1期(1歳)、2期(5、6歳) ・各1回	1期 534 2期 660
9	水痘	1歳から3歳に至るまで・2回	1,138
10	日本脳炎	3歳から7歳半まで・3回 小学4年生(9歳から13歳未満) 追加接種・1回 ※特例対象者(平成19年4月1日以前生まれ。ただし、20歳未満)	2,614
11	2種混合	小学校6年生(11歳以上13歳未満)・1回	628

NO	事業名	対象年齢・接種回数	令和6年度
			最終実績 (人)
12		小学6年生から高校1年生相当する年齢の女性・2～3回	744
	H P V (子宮頸がん)	キャッチアップ対象者(平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性で、過去にH P Vワクチン接種を受けていない者)・1～3回	2,464
	HPV感染症に係る任意接種償還払	H P Vワクチンの積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逃した人の中で、定期接種の対象年齢を過ぎてH P Vワクチンの任意接種を受けた者・1～3回	2
13	高齢者インフルエンザ	65歳以上及び60から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	10,691
14	高齢者新型コロナウイルス感染症	65歳以上及び60歳から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	1,852
15	高齢者の肺炎球菌感染症	65歳の者 及び60歳から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	151
16	大人の風しん(風しんの追加的対策)	抗体保有率の低い世代(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)に対し、風しんの抗体検査を実施 抗体検査の結果、抗体が十分でないと確認できた者に対し、予防接種の実施	抗体検査 65 予防接種 14
17	大人の風しん(任意)	妊娠を予定又は希望している女性(妊婦を除く) ただし、風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でないと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で助成を受けたことがない者 接種費用一部助成	MR 4 風しん5
18	子どもインフルエンザ(任意)	平成21年4月2日～平成24年4月1日生 ・1回 平成24年4月2日～令和5年12月31日生 ・2回 接種費用一部助成(市単独事業)	7,002
19	特別の理由による任意接種助成事業(任意)	骨髄移植手術その他の理由により、免疫を失い、接種済みの定期の予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度、予防接種を受ける方に対し、予防接種に要する費用の一部を助成 接種日に20歳未満の方 ただし、5種(4種)混合は15歳未満、ヒブは10歳未満、小児の肺炎球菌は6歳未満、B C Gは4歳未満の方	10 4混:3 MR:2 日脳:2 B肝:2 水痘:1
20	帯状疱疹(任意)	50歳以上の方 1人1回 接種費用一部助成(市単独事業)	397 ビケン:250 シングリックス :147

2 予防接種事業詳細

(1) 定期の予防接種（A類疾病）

定期の予防接種のうち、A 類疾病については、人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、またはかかった場合の病状の程度が重篤になり、もしくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病であり、接種費用の全額を市が負担して行っています。

ア ロタウイルス感染症

(ア) 1 価ワクチン

(単位：人)

区分 年度	1 回目				2 回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	214	261	28	122.0	160	218	25	136.3
令和 3 年	550	537	61	97.6	548	533	62	97.3
令和 4 年	450	446	48	99.1	450	462	50	102.7
令和 5 年	408	389	45	95.3	408	385	45	94.4
令和 6 年	390	371	37	95.1	390	376	41	96.4

(イ) 5 価ワクチン

(単位：人)

区分 年度	1 回目				2 回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	160	50	6	31.3	113	43	6	38.1
令和 3 年	156	147	13	94.2	148	138	12	93.2
令和 4 年	151	151	5	100.0	169	150	8	88.8
令和 5 年	190	183	3	96.3	190	184	2	96.8
令和 6 年	170	162	8	95.3	170	165	8	97.1
区分 年齢	3 回目							
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)				
令和 2 年	47	37	4	78.7				
令和 3 年	149	136	11	91.3				
令和 4 年	148	140	8	94.6				
令和 5 年	190	188	1	98.9				
令和 6 年	170	159	9	93.5				

※令和 2 年 10 月 1 日からロタウイルス感染症の予防接種が定期接種となる

イ 小児の肺炎球菌感染症

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	718	683	81	95.1	714	702	88	98.3
令和3年	706	700	76	99.2	696	685	75	98.4
令和4年	601	603	54	100.3	619	619	61	100.0
令和5年	603	577	50	95.7	599	575	47	96.0
令和6年	560	548	48	97.9	566	554	51	97.9
区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	713	701	84	98.3	714	706	90	98.9
令和3年	699	680	75	97.3	703	688	74	97.9
令和4年	636	613	61	96.4	713	665	43	93.3
令和5年	590	586	43	99.3	608	580	45	95.4
令和6年	599	558	55	93.2	607	594	47	97.9

ウ B型肝炎

(単位：人)

区分 年度	1回目				2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	718	683	83	95.1	714	704	89	98.6
令和3年	706	693	78	98.2	696	689	76	99.0
令和4年	601	606	54	100.8	619	614	61	99.2
令和5年	603	580	50	96.2	599	578	46	96.5
令和6年	560	541	47	96.6	566	549	51	97.0
区分 年度	3回目							
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)				
令和2年	714	712	90	99.7				
令和3年	711	660	76	92.8				
令和4年	657	604	50	91.9				
令和5年	609	567	51	93.1				
令和6年	576	532	42	92.4				

エ ヒブ感染症

(単位：人)

区分 年度	第 1 期 初回 1 回目				第 1 期 初回 2 回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	718	686	82	95.5	714	721	89	101.0
令和 3 年	706	699	76	99.0	696	683	75	98.1
令和 4 年	601	605	54	100.7	619	618	61	99.8
令和 5 年	603	574	50	95.2	599	573	47	95.7
令和 6 年	560	1	0	0.2	566	54	8	9.5
区分 年度	第 1 期 初回 3 回目				第 1 期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	713	714	89	100.1	712	732	101	102.8
令和 3 年	699	680	76	97.3	703	685	74	97.4
令和 4 年	636	610	61	95.9	704	666	43	94.6
令和 5 年	590	584	43	99.0	604	579	45	95.9
令和 6 年	599	106	14	17.7	607	529	41	87.1

オ 5 種混合

令和 6 年度から、4 種混合にヒブ感染症を追加した「5 種混合」が予防接種法の A 類疾病に位置付けられ、定期接種となりました。

(単位：人)

区分 年度	第 1 期 初回 1 回目				第 1 期 初回 2 回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 6 年	560	547	47	97.7	566	498	43	88.0
区分 年度	第 1 期 初回 3 回目				第 1 期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 6 年	599	452	41	75.5	607	56	5	9.2

カ 4 種混合

(単位：人)

区分 年度	第 1 期 初回 1 回目				第 1 期 初回 2 回目			
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	714	698	88	97.8	713	703	84	98.6
令和 3 年	696	687	75	98.7	699	685	74	98.0
令和 4 年	619	615	58	99.4	636	614	63	96.5
令和 5 年	603	621	53	103.0	599	631	50	105.3
令和 6 年	560	2	1	0.4	566	58	8	10.2

カ 4種混合

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	711	732	85	103.0	714	736	89	103.1
令和3年	685	672	79	98.1	703	700	70	99.6
令和4年	637	605	55	95.0	713	648	48	90.9
令和5年	590	640	49	108.5	608	648	48	106.6
令和6年	599	112	14	18.7	607	597	42	98.4

キ 不活化ポリオ

(単位：人)

区分 年度	第1期 初回 1回目				第1期 初回 2回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和元年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和2年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和3年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和4年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和5年	—	0	0	—	—	0	0	—
区分 年齢	第1期 初回 3回目				第1期 追加			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和元年	—	0	0	—	—	1	0	—
令和2年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和3年	—	0	0	—	—	2	0	—
令和4年	—	0	0	—	—	0	0	—
令和5年	—	0	0	—	—	0	0	—

ク BCG

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	再掲)広域分	再掲)集団	接種率(%)
令和2年	720	795	88		110.4
令和3年	691	665	75		96.2
令和4年	644	611	57		94.9
令和5年	608	588	44		96.7
令和6年	562	546	49		97.2

※令和2年度から個別接種のみ

ケ 麻しん・風しん

(ア) 麻しん・風しん

(単位：人)

区分 年齢	第 1 期				第 2 期			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	714	703	95	98.5	737	665	29	90.2
令和 3 年	703	679	70	96.6	785	729	29	92.9
令和 4 年	695	675	55	97.1	738	663	40	89.8
令和 5 年	656	569	46	86.7	781	698	26	89.4
令和 6 年	606	534	43	88.1	749	660	27	88.1

(イ) 麻しん単抗原

(単位：人)

区分 年齢	第 1 期			第 2 期		
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分
令和 2 年	—	0	0	—	0	0
令和 3 年	—	0	0	—	0	0
令和 4 年	—	0	0	—	0	0
令和 5 年	—	0	0	—	0	0
令和 6 年	—	0	0	—	0	0

(ウ) 風しん単抗原

(単位：人)

区分 年齢	第 1 期			第 2 期		
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分
令和 2 年	—	0	0	—	0	0
令和 3 年	—	0	0	—	0	0
令和 4 年	—	0	0	—	0	0
令和 5 年	—	0	0	—	0	0
令和 6 年	—	0	0	—	0	0

(エ) 風しん第 5 期（風しんに関する追加的対策）

乳幼児期に接種機会の与えられなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査を受け、その結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明したものを除いて、令和 7 年 3 月 31 日までの時限措置として風しんの第 5 期の定期接種を行っています。

(単位：人)

区分 年度	接種者数				
	対象者数	抗体 検査数	接種者数		接種率
			MR	風しん	
令和 2 年	—	1,324	246	0	—
令和 3 年	—	578	133	0	—
令和 4 年	—	566	110	0	—
令和 5 年	—	102	13	0	—
令和 6 年	—	65	14	0	—

コ 水痘

(単位：人)

区分 年齢	第 1 回				第 2 回			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	714	712	94	99.7	721	708	87	98.2
令和 3 年	703	680	71	96.7	722	691	69	95.7
令和 4 年	713	672	53	94.2	707	613	46	86.7
令和 5 年	609	578	46	94.9	726	654	49	90.1
令和 6 年	608	596	42	98.0	612	542	41	88.6

サ 日本脳炎

(単位：人)

区分 年齢	第 1 期 初回 1 回目				第 1 期 初回 2 回目			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	779	773	56	99.2	779	795	56	102.1
令和 3 年	732	711	67	97.1	732	709	72	96.9
令和 4 年	739	685	50	92.7	739	646	40	87.4
令和 5 年	739	712	35	96.3	739	723	38	97.8
令和 6 年	721	670	32	92.9	721	646	27	89.6
区分 年齢	第 1 期 初回 3 回目				第 2 期			
	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)	対象者 数	接種者 数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	724	752	34	103.9	780	887	12	113.7
令和 3 年	770	478	22	62.1	782	517	7	66.1
令和 4 年	744	834	58	112.1	807	871	12	107.9
令和 5 年	742	697	38	93.9	873	716	20	82.0
令和 6 年	715	674	33	94.3	725	624	13	86.1

シ 2 種混合

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	接種率 (%)
令和 2 年	816	742	6	90.9
令和 3 年	873	684	5	78.4
令和 4 年	838	616	7	73.5
令和 5 年	785	622	6	79.2
令和 6 年	808	628	8	77.7

ス HPV感染症（子宮頸がん）

平成25年6月14日付け厚生労働省通知により、積極的勧奨が見合せとなっていたが、令和3年11月に、ワクチンの有効性が副反応のリスクを上回ると認められ、積極的勧奨が再開しました。令和4年度からキャッチアップ*対象者への定期接種も実施となりました。

（単位：人）

区分 年齢	小学6年生～高校1年生の女子											
	1回目				2回目				3回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和2年	426	19	1	4.5	426	14	1	3.3	426	4	0	0.9
令和3年	417	69	2	16.5	417	67	2	16.1	417	48	1	11.5
令和4年	2,567	99	1	3.9	2,567	78	0	3.0	2,567	55	0	2.1
令和5年	2,520	166	1	6.6	2,520	129	1	5.1	2,520	78	0	3.1
令和6年	2,482	341	3	13.7	2,482	272	3	11.0	2,482	131	2	5.3
区分 年齢	キャッチアップ*対象者											
	1回目				2回目				3回目			
	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)	対象者数	接種者数	再掲)広域分	接種率(%)
令和4年	4,071	230	0	5.7	4,071	208	0	5.1	4,071	157	0	3.9
令和5年	4,504	148	2	3.3	4,504	134	3	3.0	4,504	143	1	3.2
令和6年	4,883	974	16	19.9	4,883	790	15	16.2	4,883	700	16	14.3

*キャッチアップ接種

積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対し従来の定期接種の対象年齢を超えて接種。

接種期間は、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間。

令和4年度対象者は、平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ的女子

令和5年度対象者は、平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれ的女子

令和6年度対象者は、平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれ的女子

※対象者数：令和3年までは「中学1年生の女性」、令和4年から「小学6年生から高校1年生相当の女性」とする。

セ HPV感染症に係る任意接種償還払

区分 年度	申請者数(人)	接種回数(回)
令和4年	7	14
令和5年	1	2
令和6年	2	2

※積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逃した人の中で、定期接種の対象年齢を過ぎてHPVワクチンの任意接種を受けた者 1～3回

(2) 定期の予防接種（B類疾病）

定期の予防接種のうち、B類疾病については、個人の発病又はその重症化を防止し、あわせてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾病であり、費用の一部を市が負担しております。

ア 高齢者インフルエンザ

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数				接種率 (%)
		60歳以上 65歳未満	再掲) 広域分	65歳以上	再掲) 広域分	
令和2年	23,247	8	0	15,525	591	66.8
令和3年	23,219	12	0	13,017	547	56.1
令和4年	23,125	15	2	13,501	536	58.4
令和5年	23,097	8	0	12,008	514	52.0
令和6年	22,882	10	2	10,681	486	46.7

イ 高齢者新型コロナウイルス感染症

(単位：人)

令和6年度から、新型コロナウイルス感染症が予防接種法のB類疾病に位置付けられ、定期予防接種となりました。

区分 年度	対象者数	接種者数				接種率 (%)
		60歳以上 65歳未満	再掲) 広域分	65歳以上	再掲) 広域分	
令和6年	22,882	2	0	1,850	146	8.1

ウ 高齢者の肺炎球菌感染症

(単位：人)

区分 年齢	60歳以上 65歳未満			65歳			70歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
令和2年	24	0	0	775	473	5	1,142	116	1
令和3年	21	1	0	821	489	5	505	88	4
令和4年	0	0	0	860	440	2	457	95	3
令和5年	0	0	0	815	385	5	396	76	4
令和6年	10	0	0	817	151	1	0	0	0
区分 年齢	75歳			80歳			85歳		
	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分	対象者数	接種者数	再掲) 広域分
令和2年	842	75	1	949	89	3	561	42	0
令和3年	557	117	2	420	86	2	254	54	1
令和4年	628	86	7	453	60	2	320	48	1
令和5年	613	117	4	438	80	3	287	49	3
令和6年	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位：人)

区分 年齢	90 歳			95 歳			100 歳		
	対象 者数	接種 者数	再掲) 広域分	対象 者数	接種 者数	再掲) 広域分	対象 者数	接種 者数	再掲) 広域分
令和 2 年	220	14	1	74	9	1	11	0	0
令和 3 年	120	24	1	35	5	2	8	3	0
令和 4 年	136	19	0	50	4	0	10	1	0
令和 5 年	137	16	0	68	12	1	8	0	0
令和 6 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 年齢	101 歳以上			合計					
	対象 者数	接種 者数	再掲) 広域分	対象 者数	接種 者数	再掲) 広域分	接種率 (%)		
令和 2 年				4,598	818	12	17.8		
令和 3 年				2,741	867	17	31.6		
令和 4 年				2,914	753	15	25.8		
令和 5 年				2,762	735	20	26.6		
令和 6 年				827	151	1	18.3		

(3) 任意接種

予防接種法に基づかない予防接種（任意接種）について、「風しん」「インフルエンザ」「带状疱疹」の予防接種のうち、特定の対象者に対し、一部費用の助成を行っています。

ア 大人の風しん（任意） (単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	
		MR	風しん
令和 2 年	10	10	0
令和 3 年	15	9	5
令和 4 年	17	15	2
令和 5 年	12	10	1
令和 6 年	11	4	5

※風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でないと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で助成を受けたことがない妊娠を予定又は希望している女性（妊婦を除く）

イ 子どもインフルエンザ

平成 26 年度から接種費用の一部助成事業を実施しています。

(ア) 1 歳～小学生

(単位：人)

区分 年度	対象者数	1 回目	接種率 (%)	2 回目	接種率 (%)
令和 2 年	9,234	5,468	59.2	4,905	53.1
令和 3 年	9,138	4,362	47.7	4,105	44.9
令和 4 年	9,031	3,757	41.6	3,481	38.5
令和 5 年	8,910	3,422	38.4	3,113	34.9
令和 6 年	8,761	3,305	37.7	2,896	33.1

(イ) 中学生

(単位：人)

区分 年度	対象者数	1 回目	接種率 (%)
令和 2 年	2,559	1,182	46.2
令和 3 年	2,595	889	34.3
令和 4 年	2,603	807	31.0
令和 5 年	2,592	811	31.3
令和 6 年	2,523	801	31.7

ウ 帯状疱疹

令和 5 年 9 月から接種日において 50 歳以上の方を対象に接種費用の一部助成事業を開始しています。

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種者数	接種率 (%)	再掲) ワクチンの種類	
				生ワクチン (ビケン)	不活化ワクチン (シングリックス)
令和 5 年	40,878	816	2.0	615	201
令和 6 年	41,570	397	1.0	250	147

エ 特別の理由による任意接種助成事業

令和 2 年度から、骨髄移植手術その他の理由により、免疫を失い、接種済みの定期的予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度、予防接種を受ける方に対し、予防接種に要する費用の一部を助成しています。

区分 年度	申請者 (実人員)	予防接種の種目数
令和 2 年	0	－
令和 3 年	0	－
令和 4 年	0	－
令和 5 年	0	－
令和 6 年	1	4 種混合 3 回、MR2 回、日本脳炎 2 回、B 型肝炎 2 回、水痘 1 回

6 自殺対策事業

1 自殺対策事業

平成28年の自殺対策基本法の改正により、自殺対策の新たな位置づけが「生きることの包括的な支援」となり、地方自治体に自殺を防ぐための計画策定が義務付けられ、平成30年度から令和9年度までの10年間の期間とした「あま市自殺対策計画」を策定し取り組んでいます。

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容	令和6年度
				最終実績 (人)
1	あま市自殺対策ネットワーク会議	1回	関係機関及び団体と連携し、自殺対策を総合的かつ効果的に推進する	1回
2	あま市自殺対策推進本部	1回	計画の進捗管理及び施策の調整等を行う	本部・幹事会 1回
		随時		幹事会部会 1回
3	ゲートキーパー養成講座	10回	自殺対策に係る人材の確保・養成 新規採用職員、市職員、民生児童委員、居宅介護支援事業所および介護事業所の職員を対象に実施	509
4	自殺防止普及啓発	通年	自殺防止パンフレット配付 (あまのわ、はたちの式) 自殺予防週間・自殺対策強化月間に街頭啓発 市内3図書館にて自殺予防の特設コーナーを開設 市内ポストにシールを貼付 市内医療機関・調剤薬局に相談窓口リーフレットの設置 広報あま、市公式LINE等 出前講座等	42,700
5	あま安心ダイヤル	通年	24時間電話相談 (うちメンタル再掲)	1,133 (572)
6	精神保健相談会	3回	精神科医師による個別相談	6
7	こころの相談室	通年	公認心理師(臨床心理士)による個別相談 随時	2

2 自殺対策事業詳細

(1) あま市自殺対策ネットワーク会議

自殺対策基本法に基づき、関係機関及び団体と連携し、生きるための包括的な支援を推進することにより、自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、平成30年度からあま市自殺対策ネットワーク会議を実施しています。

区分 年度	回数 (回)	開催日
令和2年	1 (書面)	令和2年11月6日
令和3年	1 (書面)	令和4年3月7日
令和4年	1 (書面)	令和4年9月5日
令和5年	1	令和5年8月9日
令和6年	1	令和6年8月2日

(2) あま市自殺対策推進本部

市の自殺対策の推進体制を確立するため、庁内関係部局が横断的に参画するよう、あま市自殺対策本部会を開催し、計画の進捗管理及び施策の調整等を行っています。令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症禍であったため、本部・幹事会は書面会議となり、関係部会は関係課とのヒアリングとなりました。

区分 年度	本部・幹事会 (関係部課長)		部会 (関係課担当職員)	
	回数 (回)	開催日	回数 (回)	開催日
令和2年	1 (書面)	令和2年8月28日	1(ヒアリング)	令和3年3月31日
令和3年	1 (書面)	令和3年11月12日	1(ヒアリング)	令和4年3月28日
令和4年	1 (書面)	令和4年11月10日	2 (内ヒアリング1回)	令和4年7月5日 令和4年12月5日
令和5年	1	令和5年7月19日	1(ヒアリング)	令和5年6月12日
令和6年	1	令和6年7月19日	1(ヒアリング)	令和6年5月

(3) ゲートキーパー養成講座

多くの市民が「ゲートキーパー」となり、周りの人の異変に気づいたときに適切に行動ができるよう人材育成をするため、ゲートキーパー養成講座を開催しており、令和5年度においては、対象者を拡大し、居宅介護支援事業所及び介護事業所の職員に向けて養成講座を実施しました。

区分 年度	回数 (回)	参加者数 (人)	参加者数内訳 (人)				
			民生委員	一般市民	その他	職員	再掲 (新規)
令和2年	1	15		8		7	
令和3年	1	21				21	(21)
令和4年	4	122	67	7	7	41	(29)
令和5年	3	76	25	15	9	27	
令和6年	10	509	10	146		353	(21)

※職員…令和元年度以降は、自殺対策本部会員、新規市職員・健康推進課職員が受講

令和6年度は全職員を対象にゲートキーパー養成講座（eラーニング）を実施

(4) 自殺防止普及啓発

「あまのわ」や「はたちの式」での自殺防止パンフレット配布や市内医療機関・調剤薬局に相談窓口リーフレットを設置し、自殺対策強化月間では、街頭での啓発活動を行い、自殺防止の普及・啓発を実施しています。

・年度別啓発実施状況

区分 年度	啓発数 (人)	回数 (回)			その他 (新たな取組)
		街頭啓発	あまのわ	はたちの式	
令和2年	3,400	1	0	1	缶バッチ「守りたいところと命」作成
令和3年	2,385	0	1	1	市公式 LINE 及びメール配信サービス
令和4年	2,770	1	1	1	相談窓口リーフレット設置 (医療機関・薬局)
令和5年	3,777	2	1	1	あまのわで自殺防止パンフレット配布
令和6年	42,700	2	1	1	9月号の広報あまにて困ったときの相談窓口のリーフレットを各戸配布 市内3図書施設でこころの健康をテーマとした特設コーナーを開設

・年度別街頭啓発実施状況 (自殺予防週間と自殺対策強化月間での啓発)

区分 年度	自殺予防週間		自殺対策強化月間 (3月)	
	実施日	場所	実施日	場所
令和2年	9月16日	名鉄甚目寺駅周辺	中止	
令和3年	中止		啓発物品配布 (保健センター窓口)	
令和4年	中止		3月7日	名鉄甚目寺駅周辺
令和5年	9月12日	名鉄甚目寺駅周辺	3月5日	名鉄甚目寺駅周辺
令和6年	9月12日	ヨシヅヤ甚目寺店	3月7日	ヨシヅヤ甚目寺店
			2月下旬～ 3月下旬	美和図書館、甚目寺公民館 図書室、七宝公民館読書室

(5) あま安心ダイヤル

令和2年度 (令和3年3月) から、健康やこころの相談窓口として、24時間電話相談可能な「あま安心ダイヤル (0120-201-072)」を設置しました。

区分 年度	相談者数 (人)			再掲) ストレス・メンタルヘルスに関する相談 (件)
	総数	男性	女性	
令和2年	31	20	11	11
令和3年	946	369	577	64
令和4年	414	145	269	133
令和5年	838	300	538	435
令和6年	1,133	447	686	572

参考：「ストレス・メンタルヘルスに関する相談」以外の内容別件数

区分 年度	健康保 持増進	身体 症状	家庭 看護	治療中 に関する	母子 保健	育児	夜間休 日医療	紹介・ 手配	その他
令和 2 年	1	3	3	3	0	0	0	1	9
令和 3 年	58	79	23	60	0	0	9	18	635
令和 4 年	11	82	26	72	0	0	3	9	78
令和 5 年	6	76	39	121	0	0	4	2	155
令和 6 年	11	108	67	166	0	3	6	3	197

受付時間

時間 年度	0～3	3～6	6～9	9～10	12～15	15～18	18～21	21～24
令和 2 年	3	0	1	8	3	5	7	4
令和 3 年	7	6	88	307	197	218	84	39
令和 4 年	17	12	24	64	59	55	64	119
令和 5 年	91	30	34	118	145	105	103	212
令和 6 年	59	53	126	199	129	155	142	270

（６）精神保健相談会

自殺対策ネットワーク会議の委員である精神科医師との連携強化として、令和元年度から精神保健相談会を開始し、年 3 回精神科医師による個別相談を行っています。令和 3 年度までは、精神保健相談会の開催日時を周知し、相談者等からの予約を待つ体制であったが、令和 4 年度から随時相談者のうち、精神科医師による相談につなげる必要があると判断した場合は、積極的に精神保健相談会を紹介し、つなげる体制にしました。

区分 年度	開催回数 (回)	相談者数 (人)	相談内容
令和 2 年	1	1	本人からの相談（うつ状態）
令和 3 年	1	1	職員からの相談（死にたいと訴えるケース対応）
令和 4 年	3	5	家族からの相談（ひきこもり）、自死遺族、本人からの相談（就職・人間関係）
令和 5 年	3	5	家族からの相談（ひきこもり、精神症状があり医療につながっていない）、職員からの相談（精神既往のある妊婦対応）
令和 6 年	3	6	本人からの相談（脅迫性障害に悩んでいる、不眠・不安対人恐怖に悩んでいる）家族からの相談（ひきこもり、自傷行為）、職員からの相談（精神疾患のあるケースへの対応）

(7) こころの相談室

臨床心理士（公認心理師）による個別相談を各保健センターで実施しています。

区分 年度	相談者(人)	相談内容
令和2年	4	本人からの相談（産後うつ傾向、人間関係、夫婦関係、家族関係）
令和3年	2	本人からの相談（メンタル不調）、家族からの相談（メンタル不調）
令和4年	2	本人からの相談（気持ちの落ち込み）、上司からの相談（気持ちの不安定な職員への対応について）
令和5年	3	家族からの相談（同居娘との関わり方）、本人からの相談（心身不調・来への不安）、病気（てんかん発作）について
令和6年	2	本人からの相談（夫との関わり方、メンタル不調）

(8) こころの体温計

令和2年度まで日々の生活の中で感じるストレスや気持ちの落ち込み度をパソコンや携帯電話を利用してチェックできるように、市公式ウェブサイト「こころの体温計」を掲載しました。

区分 年度	利用者数（人）
平成30年	16,607
令和元年	9,577
令和2年	10,722

(9) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育の推進

社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるための教育を推進するため、SOSの出し方に関する教育について学習する機会を市内小中学校で設けています。教育の推進を図るため、令和元年度からあま市養護教諭部会に参加し、ストレスの対処方法や相談先などについて統一した指導ができるよう指導案を作成し、令和5年度から養護教諭により、統一的な指導案を使用した教育の推進を行っています。

区分 年度	養護教諭部会 参加日	SOS 出し方教育についての健康推進課の取組
令和元年	令和2年2月12日	あま市養護教諭部会に参加 統一した指導案を作成していくことを決定
令和2年	中止	指導案検討
令和3年	令和4年1月26日	指導案検討（中学校は全校統一内容で推進）
令和4年	令和5年2月3日	指導案完成
令和5年	—	市内全小中学校で実施を推進 小学校：「合言葉はきょうしつ」「私の気持ちどんなふうに伝えよう」「心の元気のために！」中学校：「こころの健康のために」
令和6年	令和7年2月14日	

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

7 その他

1 保健師活動状況

(1) 年度別活動内容（保健センター部分、常勤保健師のみ）

年度 業務内容			令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
			単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)	単位数	率 (%)
地区 管理	調査研究		9	0.1	9.5	0.1	128	1.9	0	0.0	0	0.0
	地区管理		1661	24.9	1184	15.5	1916	28.5	3041.5	37.3	2090	29.4
保健福祉事業	家庭訪問		392.5	5.9	461.5	6.1	510	7.6	608	7.5	626.5	8.8
	健康相談		555.5	8.3	511.5	6.7	840	12.5	914	11.2	927.5	13.1
	保健指導		730	11.0	169.5	2.2	828.5	12.3	764	9.4	938	13.2
	デイケア		0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	7	0.1
	健康診査		648.5	9.7	837.5	11.0	873	13.0	770.5	9.4	794.5	11.2
	健康教育		104	1.6	124	1.6	160	2.4	143	1.8	183	2.6
	地区組織活動		21	0.3	106.5	1.4	146	2.2	86.5	1.1	103	1.5
	機能訓練		1	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	予防接種		153.5	2.3	2270	29.8	108.5	1.6	12	0.1	29	0.4
	その他		428	6.4	651.5	8.5	66	1.0	327.5	4.0	47.5	0.7
コ ー デ イ ネ ー ト	会議	個別	58	0.9	65	0.9	128	1.9	112.5	1.4	116.5	1.6
		地域	107.5	1.6	118	1.5	75	1.1	62	0.8	85	1.2
	会議 以外	個別	110	1.7	72	0.9	172	2.6	205.5	2.5	223.5	3.1
		地域	115	1.7	13	0.2	31	0.5	38.5	0.5	29	0.4
教育 研修	研修企画		1	0.0	6	0.1	3	0.0	4	0.0	16	0.2
	実習指導		15	0.2	11	0.1	1	0.0	38	0.5	19	0.3
業務管理			466.5	7.0	56	0.7	95.5	1.4	178	2.1	114	1.6
業務連絡・事務			857.5	12.9	655.5	8.6	291	4.3	471	5.8	440	6.2
研修参加			66.5	1.0	150.5	2.0	186	2.8	338	4.1	256	3.6
その他			164	2.5	152.5	2.0	175	2.6	43.5	0.5	56.5	0.8
計			6,665	100.0	7626	100.0	6734.5	100.0	8158	100.0	7102	100.0
保健師数			15 人		18 人		16 人		19 人		16 人	
一人当たりの平均単位数			444.3		423.7		420.9		429.3		443.8	

※1 単位を4時間とする。

(2) 年度別家庭訪問状況

(単位：人)

年 度 種 別			令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
			被指導 延人員	率 (%)	被指導 延人員	率 (%)	被指導 延人員	率 (%)	被指導 延人員	率 (%)	被指導 延人員	率 (%)
感染症			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
結核			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	DOTS（再掲）		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神保健福祉			24	3.1	0	0.0	19	2.7	11	1.1	7	0.7
成人・高齢者保健	個別健康教育		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	要指導者		0	0.0	0	0.0	2	0.3	0	0.0	0	0.0
	閉じこもり予防		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	介護家族者		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ねたきり者		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	認知症の者		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	介護予防事業		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	特定保健指導		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他		20	2.6	10	1.0	0	0.0	9	0.9	9	0.9
	成人・高齢者合計		20	2.6	10	1.0	2	0.3	9	1.0	9	1.0
難 病			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
母子保健	妊 婦		47	6.1	4	0.4	7	1.0	37	3.7	33	3.4
	産 婦		248	32.0	404	41.9	241	33.8	420	41.5	400	41.8
	乳 児	新生児	9	1.2	22	2.3	6	0.8	13	1.3	20	2.1
		未熟児	24	3.1	12	1.2	8	1.1	10	1.0	8	0.8
		その他	299	38.6	383	39.7	319	44.7	432	42.6	422	44.1
	幼 児		97	12.5	114	11.8	95	13.3	69	6.8	55	5.7
	その他		5	0.6	3	0.3	17	2.4	12	1.2	4	0.4
	母子合計		729	94.2	942	97.7	693	97.1	993	98.0	942	98.0
その他	公害保健		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他		1	0.1	12	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他合計		1	0.1	12	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計			774	100.0	964	100.0	714	100.0	1,013	100.0	958	100.0

(3) 年度別コーディネート件数（会議以外）状況

年度 種別	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	個別	地域	個別	地域	個別	地域	個別	地域	個別	地域
結核・感染症	0	22	0	0	13	0	0	0	0	0
精神	1	7	1	3	3	0	13	0	1	0
健康増進	12	1	8	0	23	0	0	0	0	2
高齢者	3	0	0	0	1	0	0	0	3	1
障害児・者	11	0	7	1	11	0	1	0	6	0
難病	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
母子	59	22	23	3	55	2	82	2	248	8
その他	3	9	4	0	1	0	5	0	0	1
合計	89	61	43	8	107	2	101	2	258	12

2 学生実習指導

区分 年度	保健師		管理栄養士		歯科衛生士	
	学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
令和2年	中部大学	2人			名古屋医療スポーツ専門学校	2人
令和3年	中部大学	3人				6人
令和4年	中止	-				6人
令和5年	中部大学	2人	名古屋学芸大学	2人		2人
令和6年	中部大学	2人				4人

3 骨髄ドナー等助成事業

骨髄・末梢血幹細胞を提供する方の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図るため、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄等を提供した方（以下「ドナー」とする）及びドナーを雇用している事業所に対する助成金の交付を令和元年度から実施しています。

【ドナー】

提供日に市内に住所を有し、日本骨髄バンクを介して骨髄又は末梢血管細胞の提供を行ったドナーに対し1日につき2万円（上限7日）を交付

【事業所】

上記ドナー（個人事業主を除く）が勤務している国内の事業所（国、地方公共団体、独立行政法人、地方独立行政法人及び国立大学法人を除く）に対し、1日につき1万円（上限7日）を交付

区分 年度	ドナー		事業所	
	申請者数 (人)	助成日数 (日)	申請者数 (人)	助成日数 (日)
令和2年	3	21	0	0
令和3年	2	14	0	0
令和4年	0	0	0	0
令和5年	0	0	0	0
令和6年	2	14	0	0

【啓発】

市公式ウェブサイト及び広報あま

4 救急医療情報キットの配布

健康上不安を抱えている人に、かかりつけ医療機関関連情報、既往歴、服用薬等の救急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットを配布することにより、救急時において市民の安全と安心の確保を図っています。

【配布状況】

区分 年度	配布数 (セット)	配布場所
令和2年	488	甚目寺・七宝・美和保健センター 甚目寺・七宝・美和包括支援センター 甚目寺・七宝・美和市民サービスセンター 社会福祉課窓口
令和3年	336	
令和4年	193	
令和5年	606	甚目寺・七宝・美和保健センター（東部消防署へ）
令和6年	567	

5 献血

現在、医療において輸血は欠かすことができない治療法の一つです。輸血に必要な血液を安定的に確保するために、献血の推進と活動を実施しています。

区分 年度	実施回数 (回)	受付け者数 (人)	献血者数	実施会場
			400ml	
令和2年	4	110	99	甚目寺庁舎 美和保健センター
令和3年	4	104	92	
令和4年	4	111	91	
令和5年	2	122	110	市役所
令和6年	2	123	114	

※平成30年度より400mlのみの受付

6 災害対策訓練

区分 年度	訓練日	訓練名	参加者（所属）
令和4年	令和5年1月18日（水）	医療救護班救護所設置訓練	健康推進課 安全安心課 （現在、危機管理課）
令和5年	令和6年1月15日（月）	災害初動時情報伝達メール送受信訓練（市内医師会医療機関）	健康推進課 海部医師会事務局
令和6年	令和7年1月28日（火）	災害初動時情報伝達メール送受信訓練（市内医師会医療機関）	健康推進課 海部医師会事務局

編集・発行

令和 7 年 1 0 月

愛知県あま市西今宿馬洗 4 6 番地

あま市役所子ども健康部健康推進課

電話 (052) 443-0005

FAX (052) 443-5461

メール kenko@city.ama.lg.jp